

武豊町
公共交通に関する
アンケート調査結果について

令和7年2月

<目次>

1	調査概要.....	1
	(1) 実施概要	1
	(2) 結果概要	1
2	調査結果.....	4
	(1) 属性.....	4
	(2) 外出の状況について	8
	(3) 公共交通による移動について	26
	(4) 武豊町のコミュニティバスについて	29
	(5) 武豊町の接続タクシー（コミュニティバスに接続するタクシー）について	31
	(6) コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由	32
	(7) コミュニティバスや接続タクシーの事業実施効果について	36
	(8) コミュニティバスや接続タクシーの事業評価等について	40
	(9) コミュニティバスや接続タクシーの将来のあり方について	51
	(10) デジタル化・サービスの充実について	53
	(11) 「サービス」と「税金投入」のバランスについて	56
	(12) 公共交通利用への転換見通しについて	57
	(13) 公共交通への意見.....	60
	★調査票	62

調査結果について

1 調査概要

(1)実施概要

地域公共交通施策に対する住民のニーズと、地域公共交通の利用状況等を把握するため、住民向けアンケート調査を実施した。

○住民アンケート調査概要

調査対象	町内在住の 15 歳以上の住民から年齢階層毎に無作為に抽出
調査方法	郵送配布 郵送回収、WEB 回収
調査期間	2024 年 11 月 1 日（金）配布 11 月 18 日（月）締め切り （12 月 2 日（月）到着分まで対応）
標本数 回収率	配布数：3,000 票 回収数：1,122 票 回収率：37.4%
アンケート項目	問 1：アンケート対象者の属性 問 2：外出の状況について 問 3：公共交通による移動について 問 4：武豊町のコミュニティバスについて 問 5：武豊町の接続タクシーについて 問 6：コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由 問 7：コミュニティバスや接続タクシーの事業実施効果について 問 8：コミュニティバスや接続タクシーの事業評価等について 問 9：コミュニティバスや接続タクシーの将来のあり方について 問 10：デジタル化・サービスの充実について 問 11：「サービス」と「税金投入」のバランスについて 問 12：公共交通利用への転換見通しについて

(2)結果概要

1) 問 1：アンケート対象者の属性

回答者の属性は、性別では女性が、年齢層では 50 歳代、次いで、40 歳代の回答割合が多い。職業では、会社員、無職、パート・アルバイト、主夫・主婦で全体の約 85%を占める。

2) 問 2：外出の状況について

○買い物や娯楽の外出頻度

「週に 3～4 日」の割合が最も多く 25.9%である。次いで、「ほとんど毎日」と「週に 1～2 日」がそれぞれ 18.4%、「土日のみ」が 12.5%であった。交通手段は自家用車が 83.1%で最も多い。

○病院や福祉施設への外出頻度

「1ヶ月のうち数日」の割合が最も多く31.1%である。次いで、「年に数日」が27.9%、「週に1～2日」が5.5%である。交通手段は自家用車が83.7%で最も多い。

3) 問3：公共交通による移動について

不便を感じている割合として、「感じている」が17.6%、「やや感じている」が17.4%、合計35.0%である。

公共交通での移動に不便を感じる理由としては、「自宅から鉄道やバス停留所までが遠い」の割合が最も多く62.0%である。次いで、「使いたい時間に運行していない、時間が合わない」が55.9%、「行き先が合わない」が29.8%である。

不便を感じたことにより外出を控えたことがあるかを伺うと、「よくある」11.2%と「たまにある」37.5%を合わせた48.7%の人が外出を控えたことがあると回答している。

4) 問4：武豊町のコミュニティバスについて

利用している人（「週に3日以上」＋「週に1～2日」＋「1ヶ月に数日」＋「年に数日」）は、13.3%であった。

利用している人の利用目的は、最も多いのは「買い物」で40.3%、次いで「趣味・娯楽」が33.6%、「通院」が27.5%である。

5) 問5：武豊町の接続タクシー（コミュニティバスに接続するタクシー）について

認知度について、「知っている」が33.6%、「知らない」が64.3%であった。利用実態については、「利用したことがある」が1.6%、「利用したことはない」が96.8%である。

6) 問6：コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由

自宅の近くに停留所が「ある」人にコミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由を尋ねたところ、「自分で車を運転できる」の割合が最も多く77.7%である。次いで、「目的地まで遠回りする」が21.4%、「家族や友人などが車で送迎してくれる」が19.5%であった。

自宅の近くに停留所が「ない」人にバス停が設置された場合の利用意向を尋ねたところ、「利用する」（「運行時間や目的地などの条件が合えば、必ず利用する」と「運行時間や目的地などの条件が合えば、おそらく利用する」の合計）が39.8%であった。一方で「利用しない」は55.4%であり、理由については「自家用車で移動できる」が86.8%で最も多い。

7) 問7：コミュニティバスや接続タクシーの事業実施効果について

コミュニティバスや接続タクシーの導入により、生活環境に対する変化の状況については、「何も変わらない」が49.2%。「交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う」は13.9%、「安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う」が11.4%、「交通手段を選択ができる環境があり、生活の質が「豊かになった」と思う」が10.0%である。

8) 問8：コミュニティバスや接続タクシーの事業評価等について

○事業全体の予算に対する1世帯当たりの負担額

「妥当」が61.7%。「多すぎる（多すぎるとやや多すぎるの合計）」は18.5%、「少なすぎる（少なすぎるとやや少なすぎるの合計）」は9.7%である。

○コミュニティバスの1世帯当たりの負担額

「妥当」が65.1%。「多すぎる（多すぎるとやや多すぎるの合計）」は16.2%、「少なすぎる（少なすぎるとやや少なすぎるの合計）」は8.1%である。

○接続タクシーの1世帯当たりの負担額

「妥当」が64.6%。「多すぎる（多すぎるとやや多すぎるの合計）」は5.0%、「少なすぎる（少なすぎるとやや少なすぎるの合計）」は13.6%である。

○赤ルートの評価

「ダイヤ設定」「運行頻度」に対する不満が他の項目と比べ高い。「運賃設定」に対しては評価が高いが、一方で「わからない」の回答も多い。

○青ルートの評価

「ダイヤの設定」「ルート」に対する不満が他の項目と比べ高い。「運賃設定」に対しては評価が高いが、一方で「わからない」の回答も多い。

○接続タクシーの評価

予約方法に対する不満が他の項目と比べ高い。「制度自体について」に対しては評価が高いが、一方で「わからない」の回答も多い。

9) 問9：コミュニティバスや接続タクシーの将来のあり方について

コミュニティバスの将来のあり方について最も多いのは「現状を維持する【車両2台・運転手2人の体制】」で21.0%。次いで「朝と夜の運行時間を延長する【車両2台・運転手4人体制】（運転手2人を増やす）」が13.1%、「赤・青ルートを両周り運行にする【車両4台・運転手4人体制】（車両2台・運転手2人を増やす）」が12.3%である。

10) 問10：デジタル化・サービスの充実について

今後、導入や強化してほしいサービスは「回数券のデジタル化、デジタルチケットの導入」が24.6%、「次世代の交通サービスである「Ma a S」の強化」が16.3%である。一方で「わからない」の回答も多い。

11) 問11：「サービス」と「税金投入」のバランスについて

「維持（現状のサービスと税金投入は妥当であり、特に変更しなくてよい）」が33.8%で最も多い。「拡充（少子高齢化、安全安心な生活のために、今以上の税金を投入し、移動サービスを充実させるべきである）」は26.6%である。

12) 問12：公共交通利用への転換見通しについて

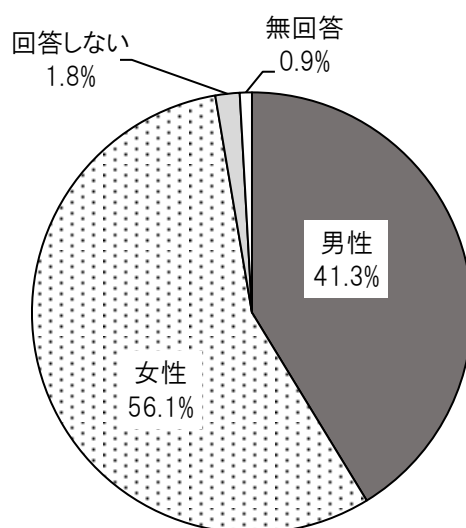
公共交通中心の生活ができると思うかという問に対して、「将来、年をとったらできると思う」が37.9%、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」は18.4%である。

2 調査結果

(1) アンケート対象者の属性

性別

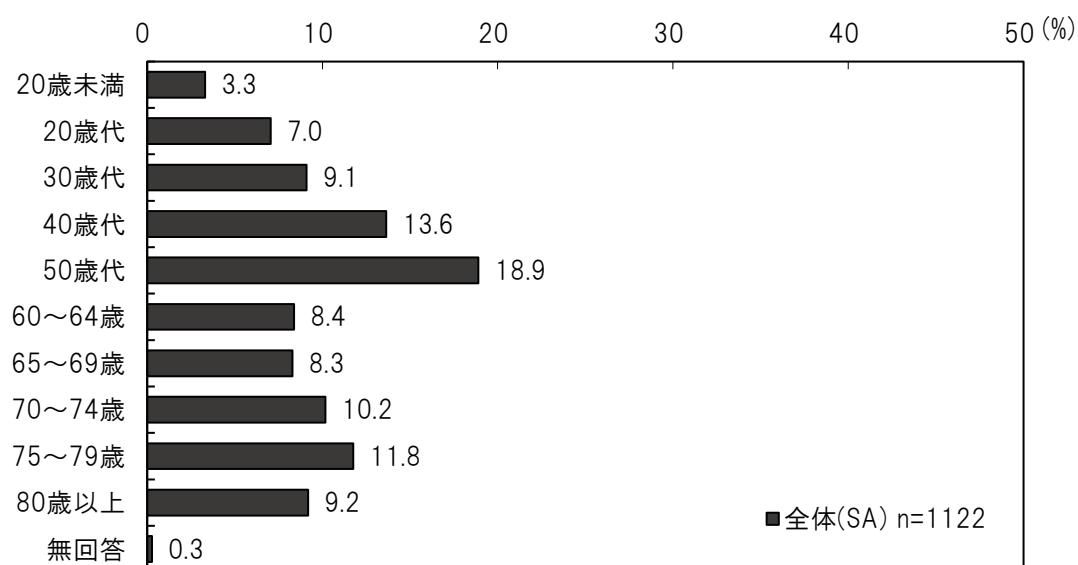
- ・男性が 41.3%、女性が 56.1%である。



全体(SA) n=1122

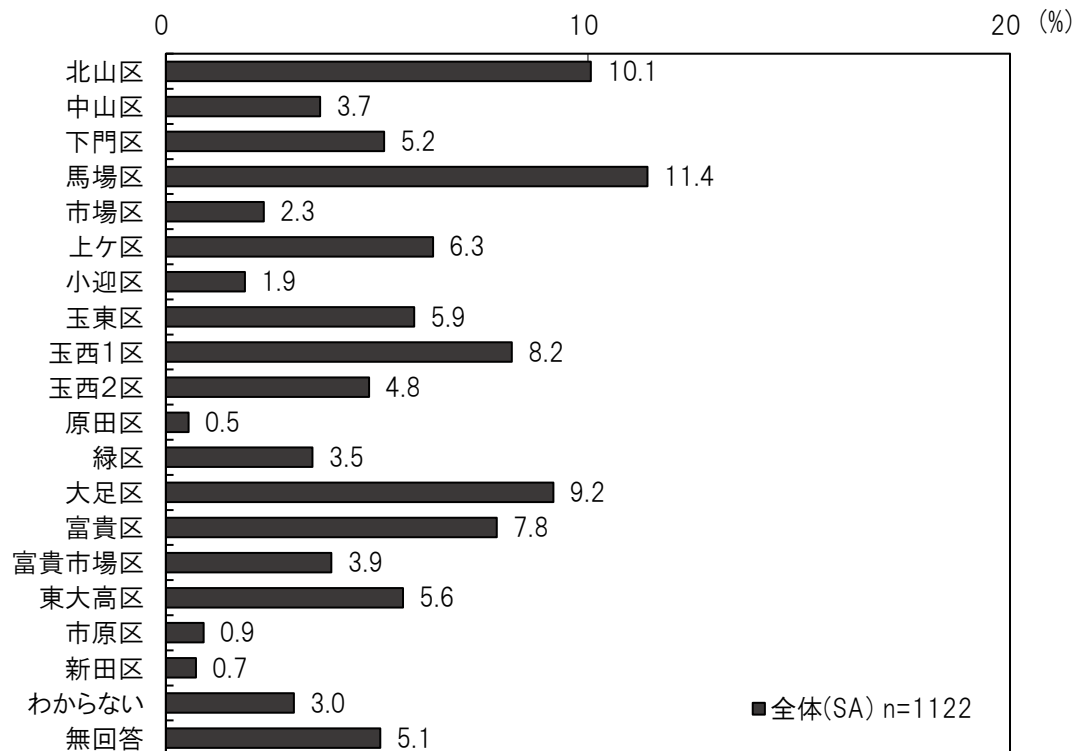
年齢

- ・幅広い年代に分散している。



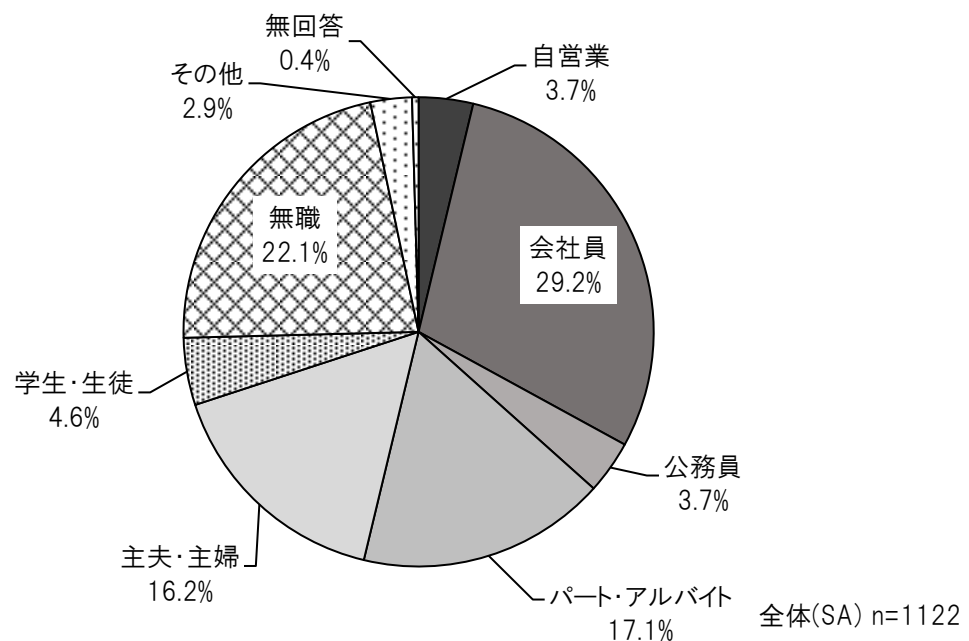
住まいの地区

- ・幅広い地区に分散している。



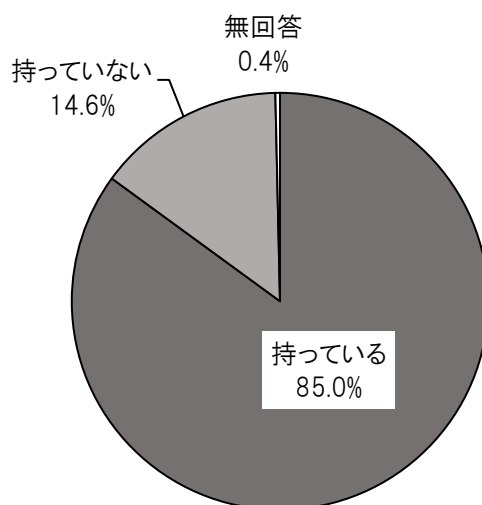
職業

- ・「会社員」の割合が最も多く 29.2%である。次いで、「パート・アルバイト」が 17.1%、「主夫・主婦」が 16.2%である。



自動車運転免許証の所有

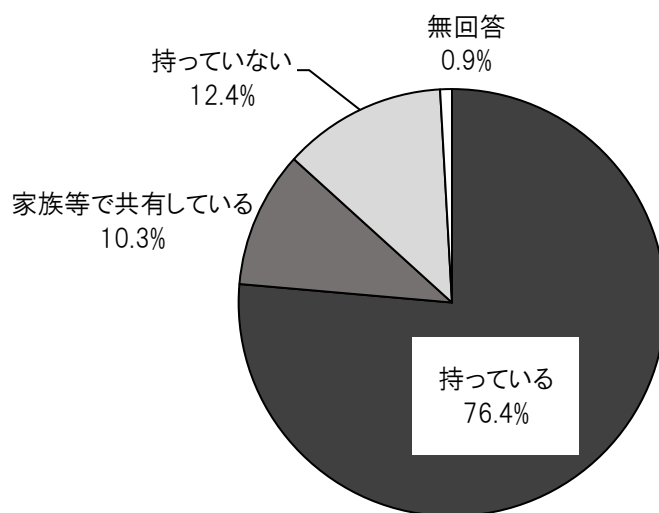
・「持っている」が85.0%、「持っていない」は14.6%である。



全体(SA) n=1122

自家用車の所有

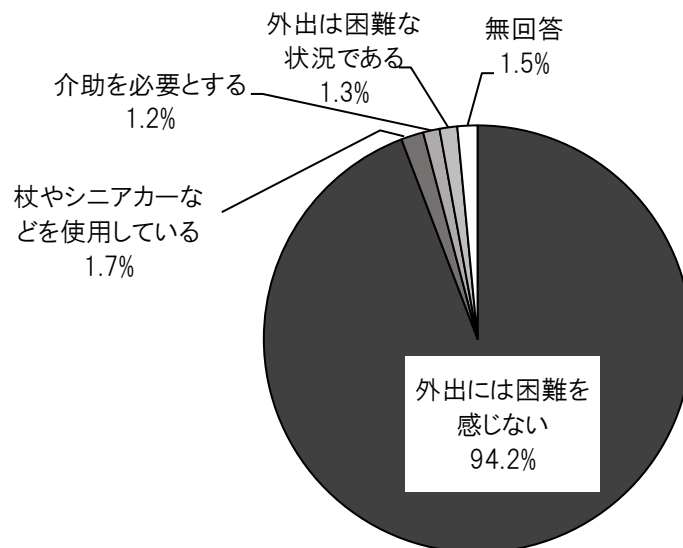
・「持っている」の割合が76.4%を占め、自動車運転免許証の所有に対する自家用車の所有が高いことがわかる。



全体(SA) n=1122

外出について

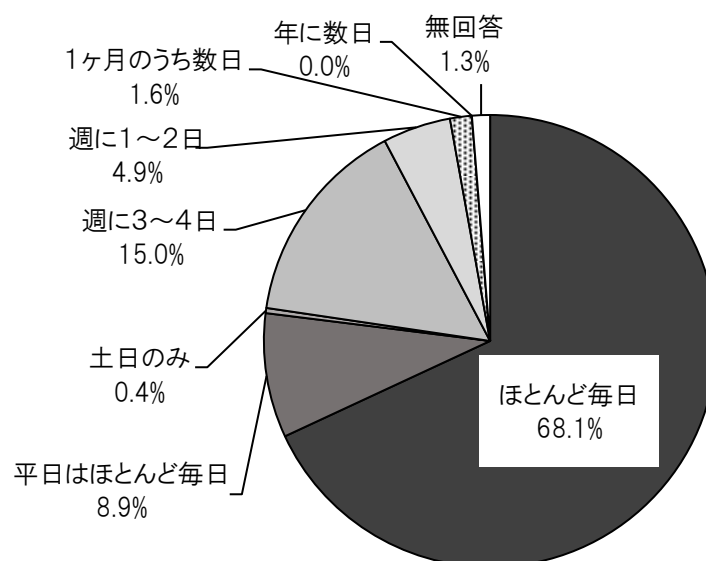
- ・外出に対する困難な状況の有無については、「外出には困難を感じない」が 94.2%、「外出は困難な状況である」は 1.3%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「外出には困難を感じない」が 87.4%であり、外出に対して困難を感じる人の割合は減少している。



全体(SA) n=1122

外出の頻度について

- ・「ほとんど毎日」と「平日はほとんど毎日」の小計が 77.0%となっており、住民の 8 割弱がほぼ毎日外出している。
- ・前回調査時点（令和元年度）では 71.1%であり、外出頻度の割合は微増している。



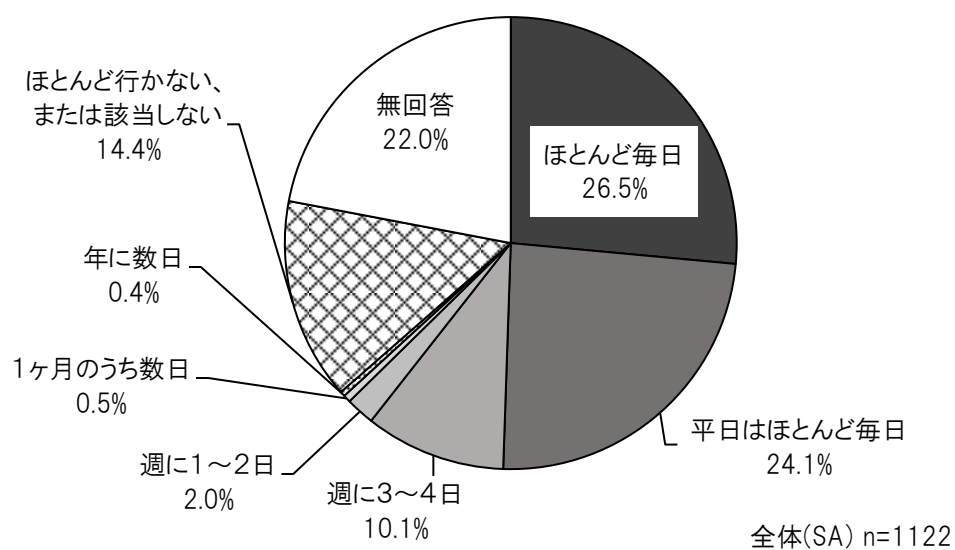
「外出は困難な状況である」以外の回答をされた方(SA) n=1090

(2)外出の状況について

問2 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「病院や福祉施設を利用する場合」の頻度、交通手段、目的地等や外出の時間帯を教えてください。

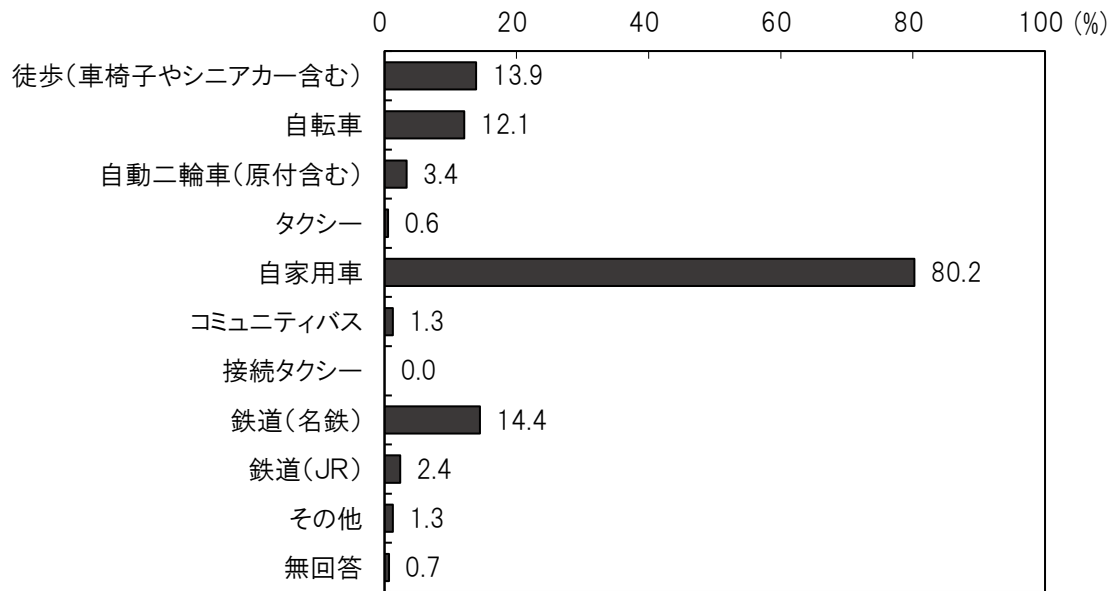
① 通勤・通学の頻度

- ・通勤・通学の頻度を見ると「ほとんど毎日」の割合が最も多く 26.5%である。次いで、「平日はほとんど毎日」が 24.1%、「週に3～4日」が 10.1%である。
- ・通勤や通学では過半数がほぼ毎日外出している。



② 通勤・通学の交通手段

- ・「自家用車」の割合が 80.2%と非常に高い。次いで「鉄道（名鉄）」が 14.4%、「徒歩（車椅子やシニアカー含む）」が 13.9%である。



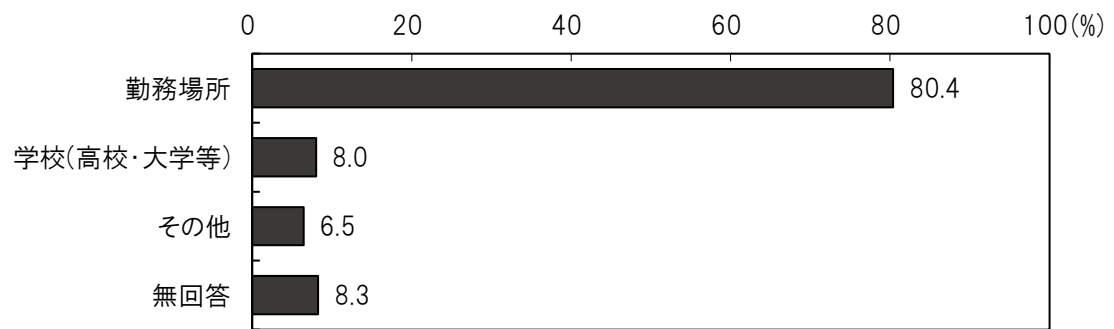
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=713(928)

<その他の回答>

- ・家族の送迎（2件）
- ・地下鉄（2件）
- ・勤務先の送迎車（2件）

③ 通勤・通学の目的地

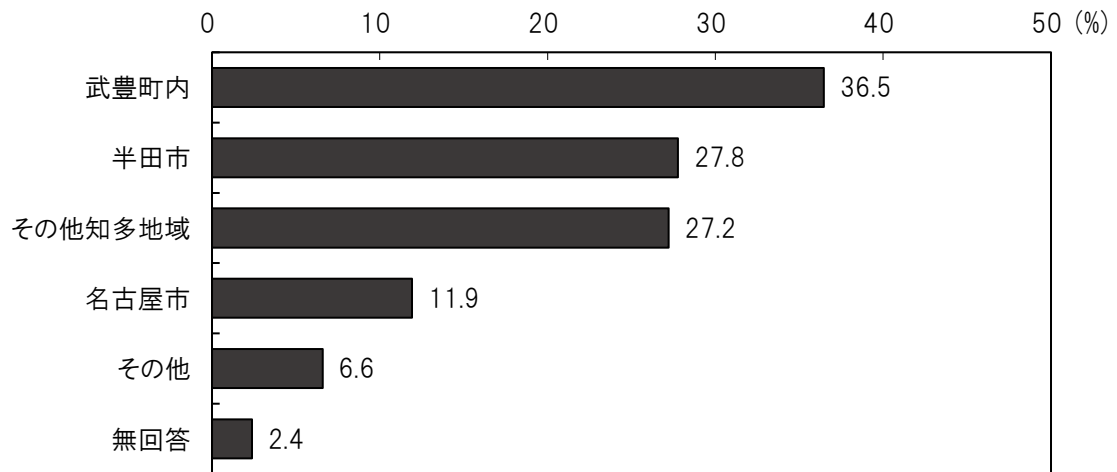
・「勤務場所」が80.4%、「学校(高校・大学等)」が8.0%である。



■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方 n=713(801)

④ 通勤・通学の場所

- ・「武豊町内」が 36.5%、「半田市」が 27.8%、「その他知多地域」が 27.2%、「名古屋市」が 11.9%である。
- ・通勤や通学場所のほとんどは、知多半島内での移動となっている。



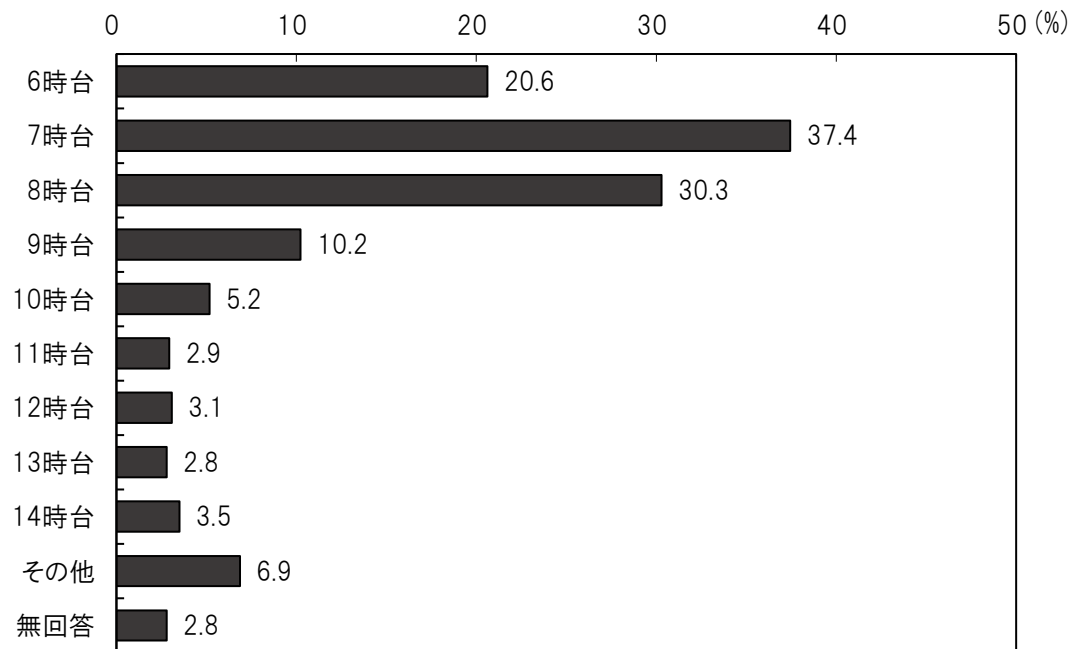
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=713(801)

<その他の回答>

- ・その他三河地域（6件）
- ・名古屋市以外の尾張地域（6件）
- ・碧南市（5件）
- ・刈谷市（4件）
- ・豊田市（4件）
- ・安城市（2件）
- ・知立市（2件）
- ・愛知県内（2件）
- ・岐阜県（2件）
- ・三重県

⑤ 通勤・通学の出発時間帯

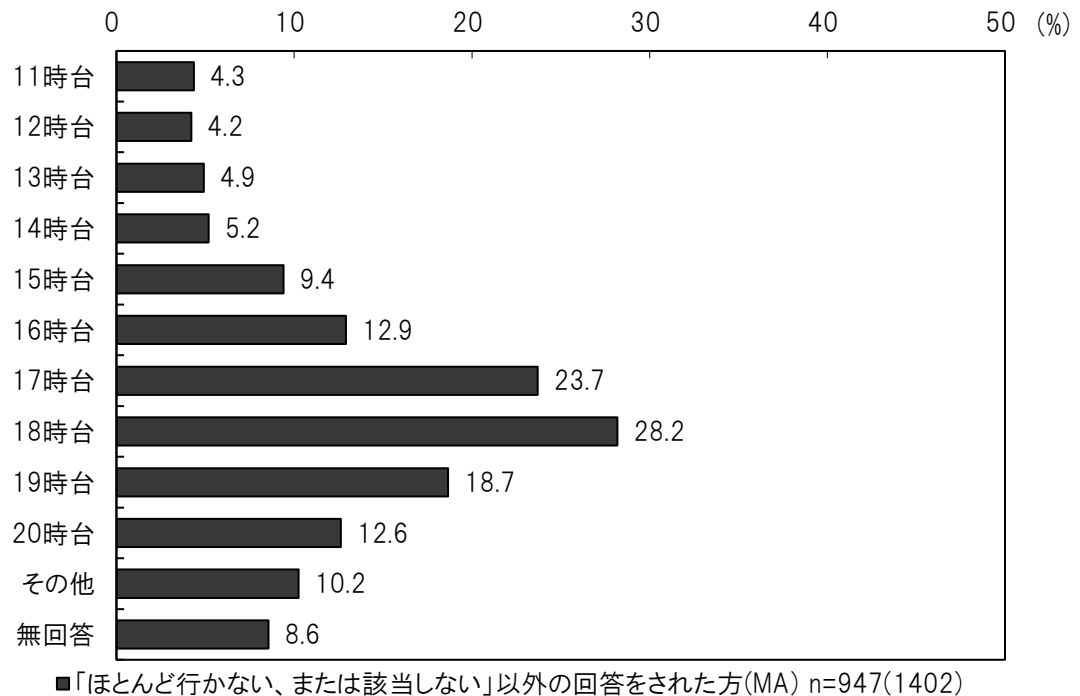
- ・「7 時台」の割合が最も多く 37.4%である。次いで、「8 時台」が 30.3%、「6 時台」が 20.6%である。



■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=713(897)

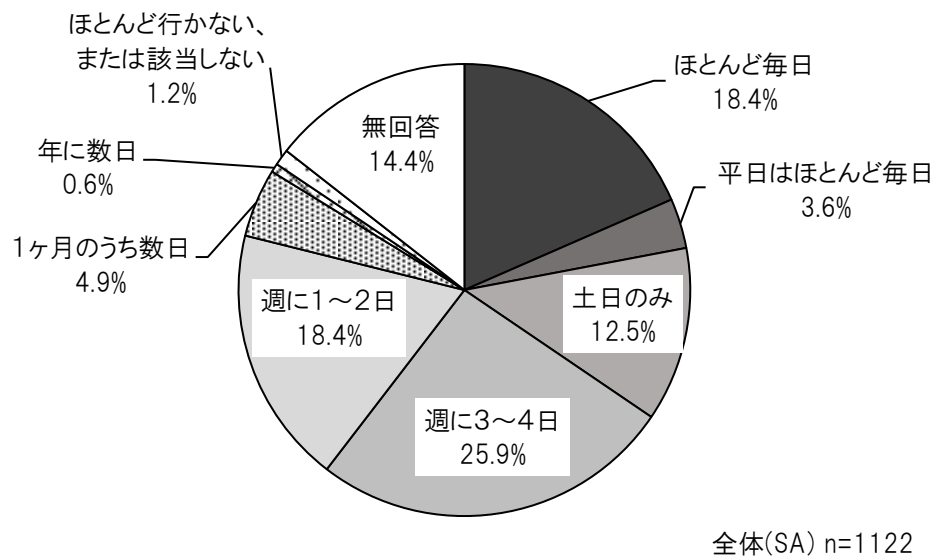
⑥ 通勤・通学の帰宅時間帯

- ・「18 時台」の割合が最も多く 28.2%である。次いで、「17 時台」23.7%、「19 時台」18.7%である。



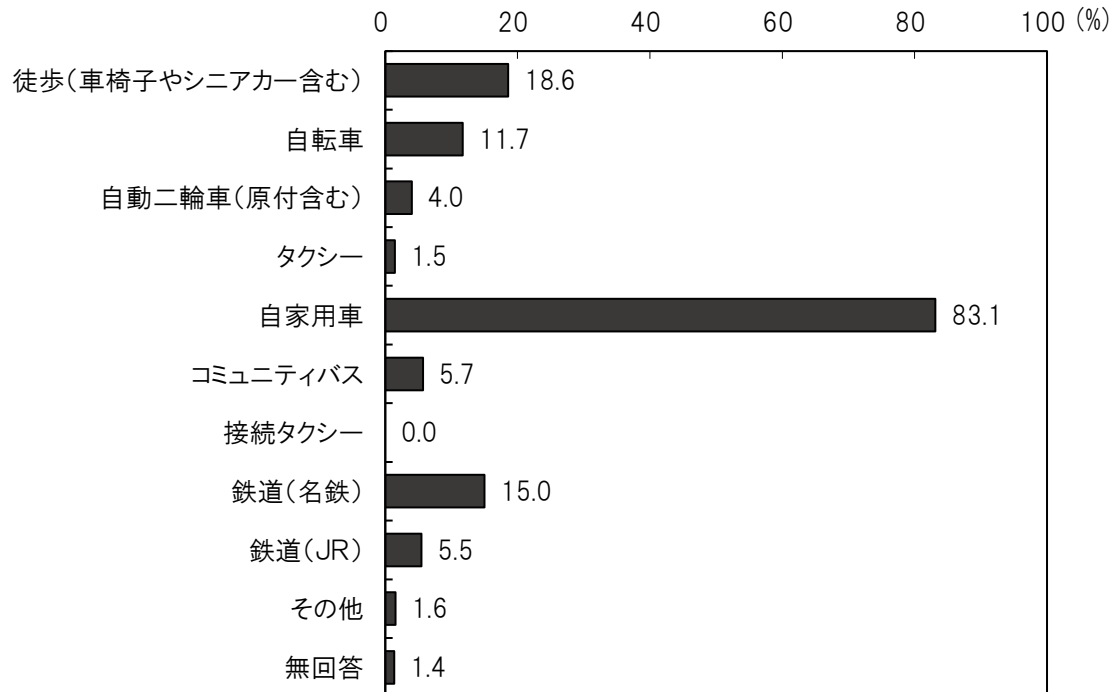
⑦ 買い物や娯楽の頻度

- ・「週に3～4日」の割合が最も多く25.9%である。次いで、「ほとんど毎日」と「週に1～2日」がそれぞれ18.4%、「土日のみ」が12.5%である。
- ・通勤や通学と比較すると外出頻度が少なく、買い物や娯楽でほぼ毎日外出する人は全体の22.0%である。



⑧ 買い物や娯楽の交通手段

- ・「自家用車」の割合が 83.1%と非常に高い。次いで、「徒歩（車椅子やシニアカー含む）」が 18.6%、「鉄道（名鉄）」が 15.0%である。



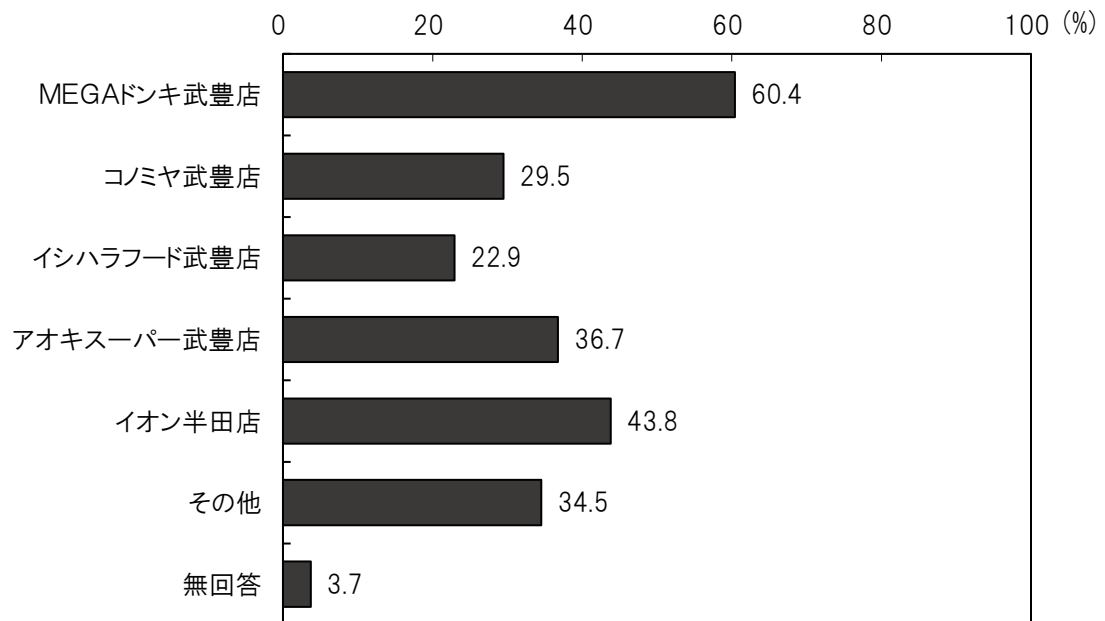
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=947(1402)

<その他の回答>

- ・家族の送迎（9件）
- ・常滑行きの無料のバス

⑨ 買い物や娯楽の目的地

- ・町内と近隣の店舗に分散している。



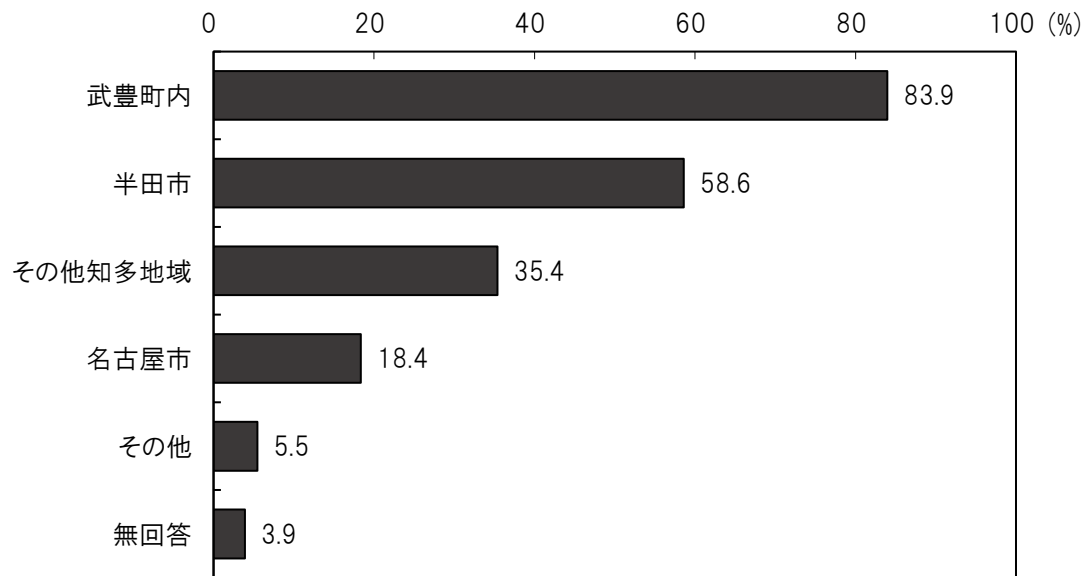
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA)n=947(2193)

<その他の回答>

- ・町内外のスーパー、モール（イオンモール常滑、イオンモール東浦、アピタ阿久比店、フィール美浜店、フィール C・フェスタ、コストコ、ロピア半田店など）
- ・ドラッグストア
- ・業務用スーパー
- ・コンビニエンスストア
- ・家電量販店、専門店
- ・名古屋市内の百貨店、スーパー、専門店
- ・スポーツジム、プール
- ・パチンコ、ラウンドワン、ゴルフ場などの娯楽場

⑩ 買い物や娯楽の場所

- ・「武豊町内」が 83.9%、「半田市」が 58.6%、「その他 知多地域」が 35.4%、「名古屋市」が 18.4%である。



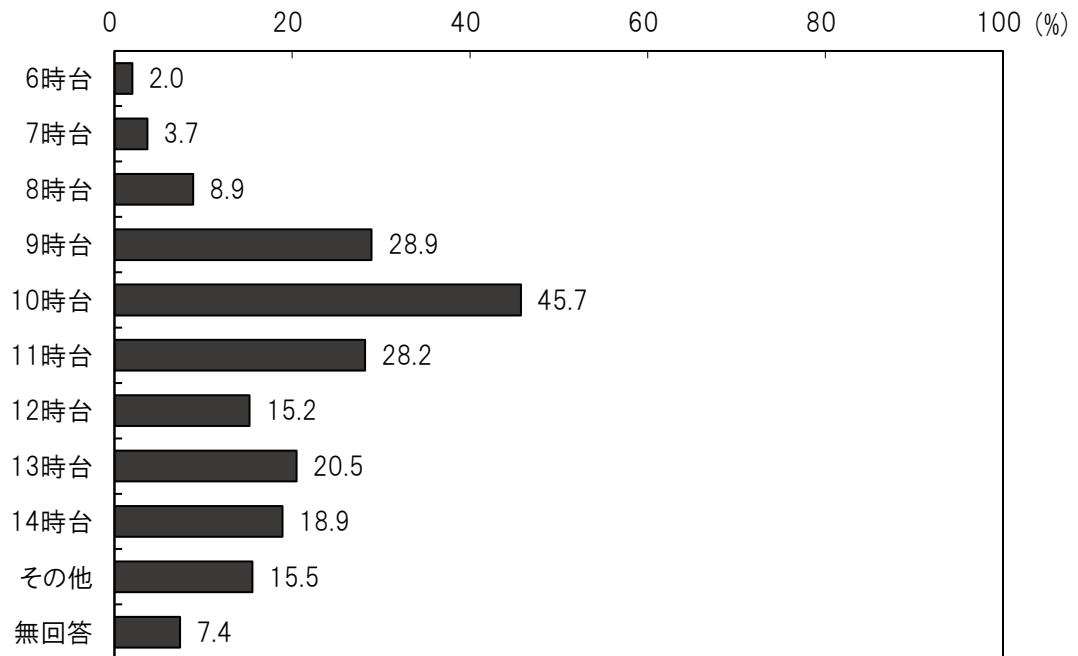
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=947(1948)

<その他の回答>

- ・安城市、刈谷市など三河地域（9件）
- ・県外（7件）
- ・小牧市

⑪ 買い物や娯楽の出発時間帯

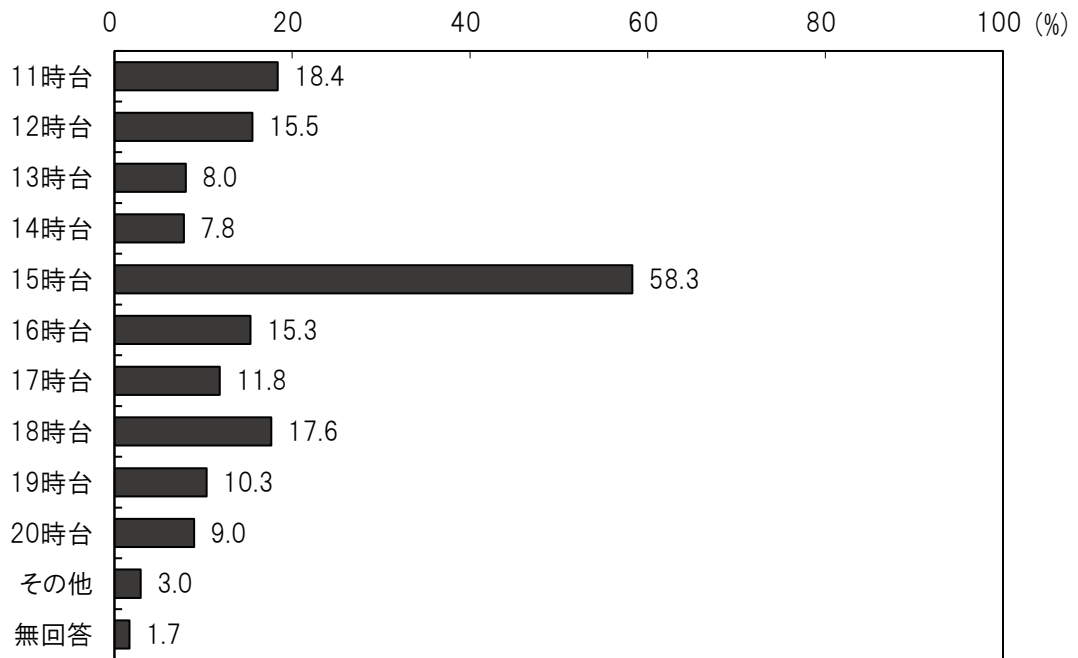
- ・「10 時台」の割合が最も多く 45.7%であり、開店時間に合わせた出発の割合が多いと思われる。次いで、「9 時台」が 28.9%、「11 時台」が 28.2%である。



■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=947(1674)

⑫ 買い物や娯楽の帰宅時間帯

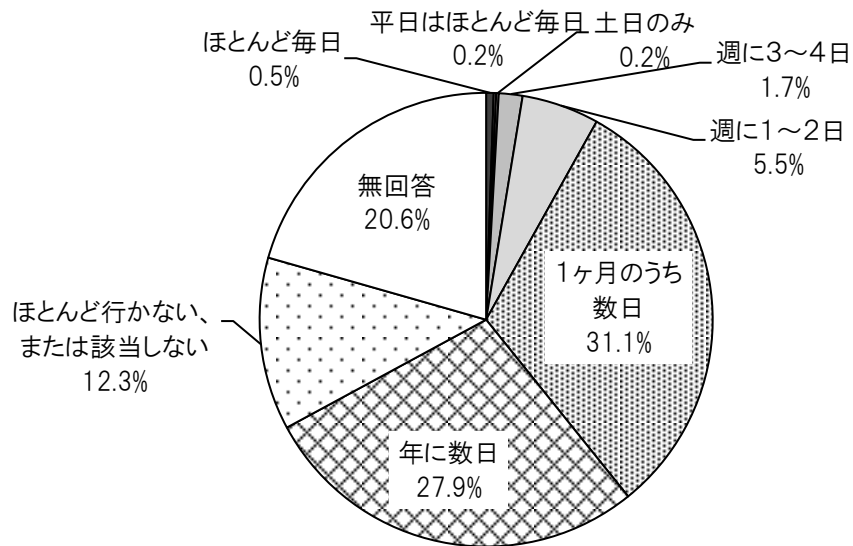
- ・「15 時台」の割合が最も多く 58.3%である。次いで、「11 時台」が 18.4%、「18 時台」が 17.6%である。



■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=947(1674)

⑬ 病院や福祉施設の頻度

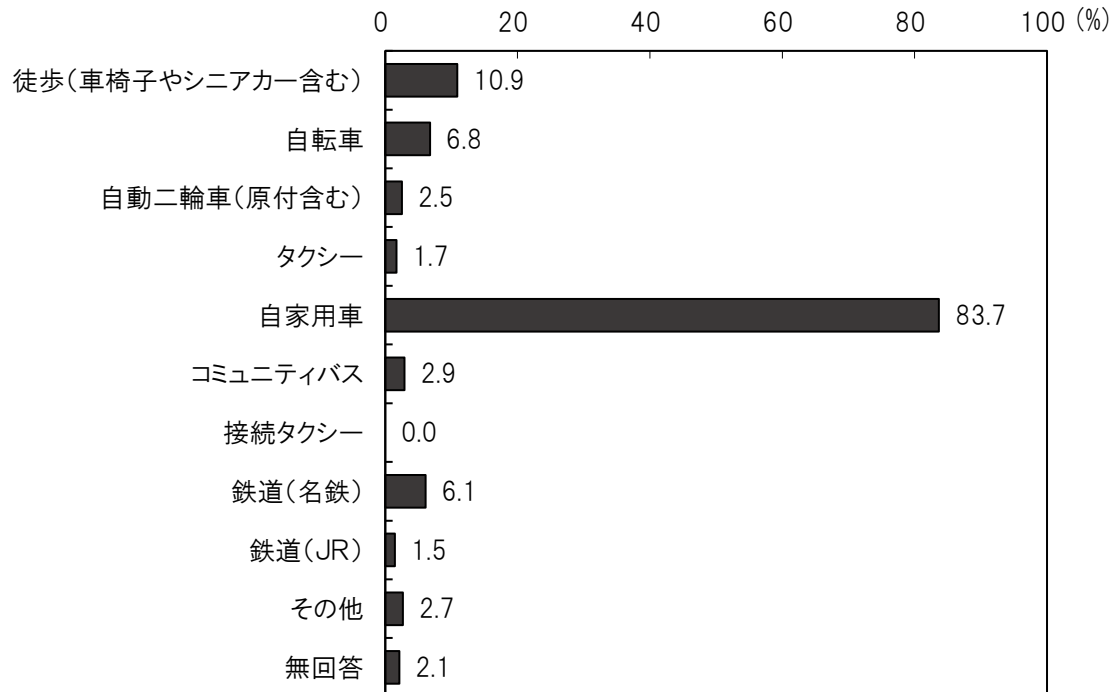
- ・「1ヶ月のうち数日」の割合が最も多く 31.1%である。次いで、「年に数日」が 27.9%、「週に1～2日」が 5.5%であり、週に複数回利用する割合は高くない結果であった。



全体(SA) n=1122

⑭ 病院や福祉施設の交通手段

- ・「自家用車」の割合が 83.7% と非常に高い。次いで、「徒歩（車椅子やシニアカー含む）」が 10.9%、「自転車」が 6.8% である。



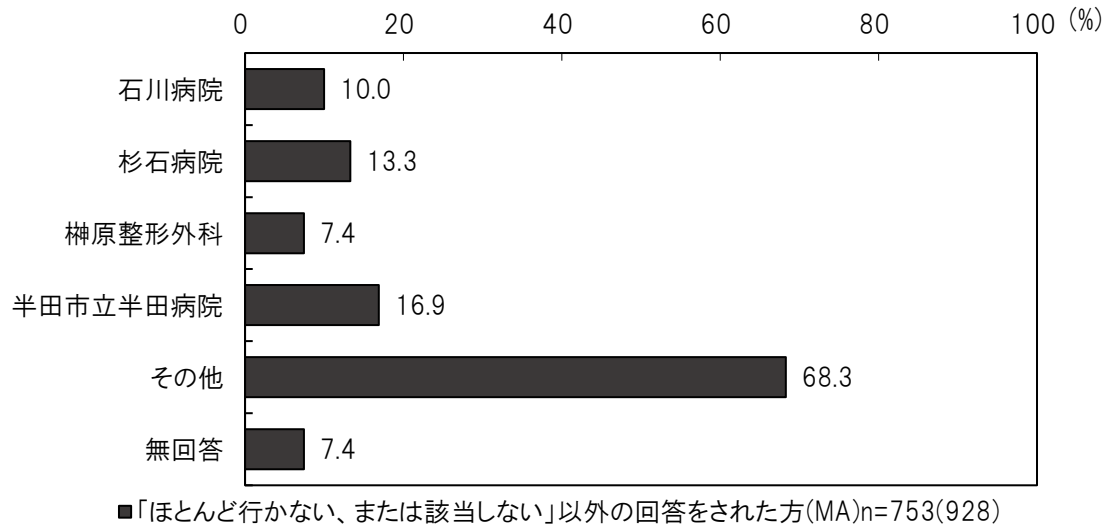
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA)n=753(928)

<その他の回答>

- ・家族の送迎（10 件）
- ・施設の送迎車（4 件）

⑮ 病院や福祉施設の目的地

- ・「その他」が最も多く、68.3%である。町内の病院にも同様に通院している。
- ・その他の回答や次ページからも、町内の病院や福祉施設が目的地とされている割合が多い。

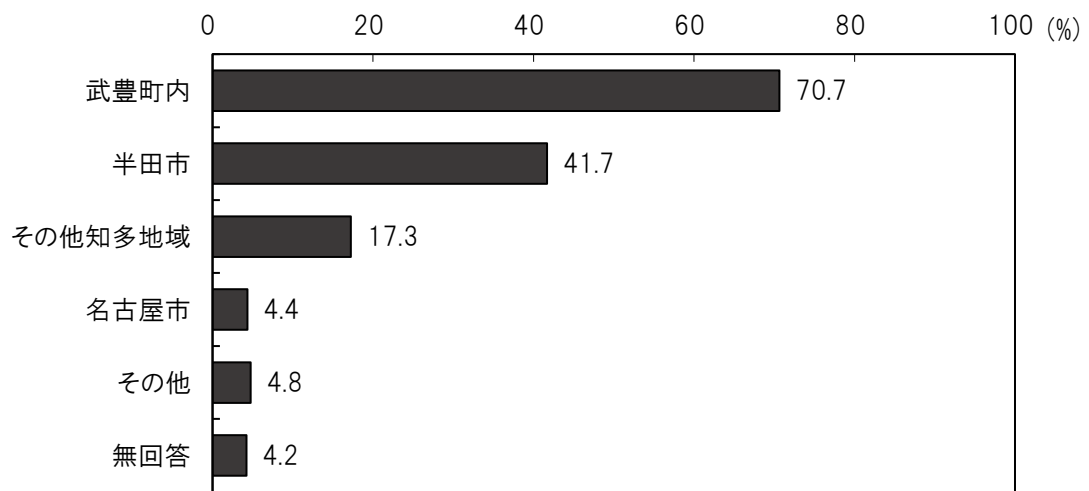


<その他の回答>

- ・町内の内科、眼科、整形外科、皮膚科、歯科など
- ・町外の病院（常滑市民病院、知多厚生病院、国立長寿医療センター、藤田医科大学病院、愛知医科大学病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名古屋大学医学部附属病院など）

⑩ 病院や福祉施設の場所

- ・「武豊町内」の割合が最も多く 70.7%である。次いで、「半田市」が 41.7%、「その他知多地域」が 17.3%、「名古屋市」が 4.4%である。町内と隣接する半田市の割合が多い。



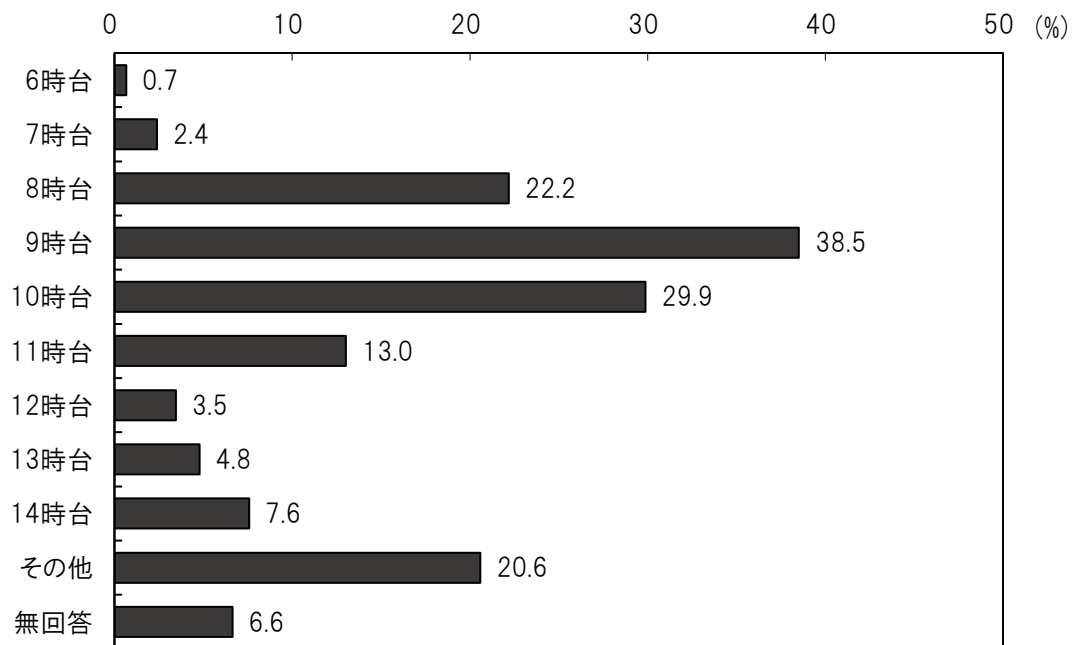
■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=753(1077)

<その他の回答>

- ・ 豊明市 (2 件)
- ・ 碧南市
- ・ 豊田市
- ・ 長久手市
- ・ 大阪市

⑰ 病院や福祉施設の出発時間帯

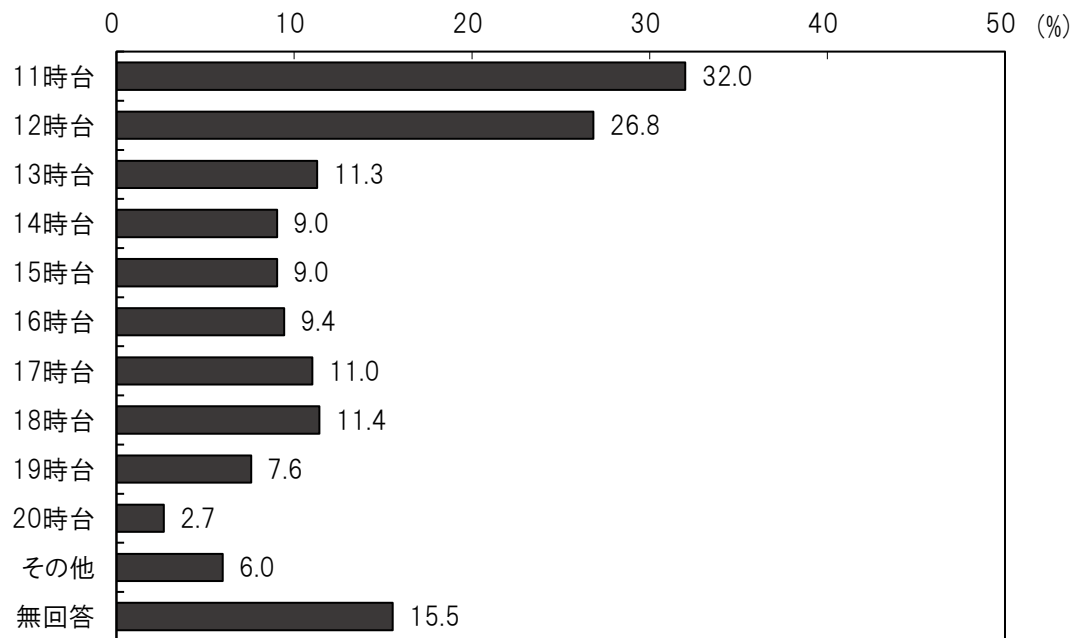
- ・「9時台」の割合が最も多く 38.5%であり、開院時間に合わせた出発の割合が多いと思われる。次いで、「10時台」が 29.9%、「8時台」が 22.2%であり、午前中の割合が高い。



■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=753(1127)

⑱ 病院や福祉施設の帰宅時間帯

- ・「11 時台」の割合が最も多く 32.0%である。次いで、「12 時台」が 26.8%、「18 時台」が 11.4%であり、午前中の割合が高い。

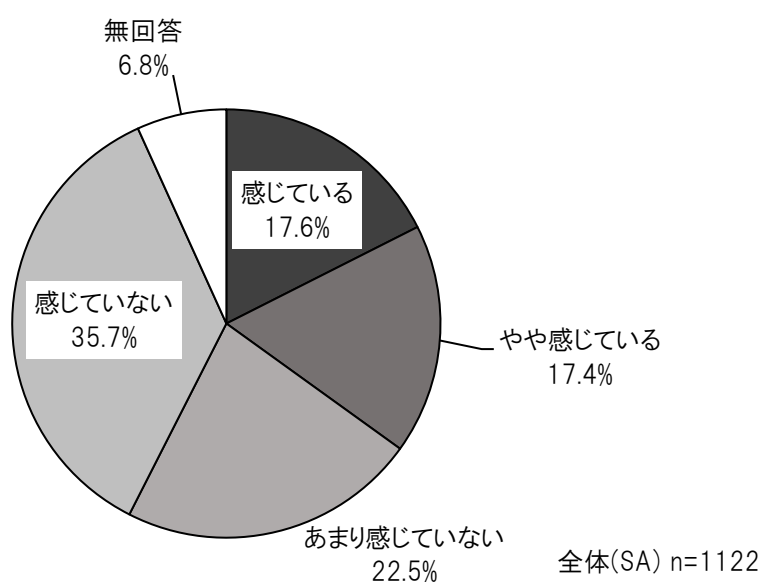


■「ほとんど行かない、または該当しない」以外の回答をされた方(MA) n=753(1143)

(3) 公共交通による移動について

問3 (1) 日常の公共交通（鉄道・コミュニティバス・タクシー等）での移動に不便を感じていますか。（1つに○印）

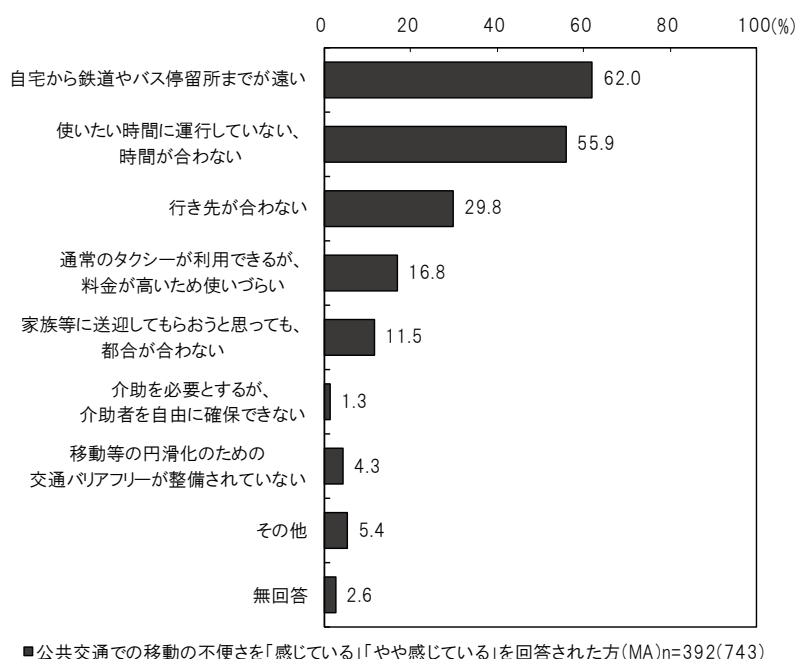
- ・日常の公共交通での移動に不便を「感じている・やや感じている」が 35.0%である一方、「あまり感じていない・感じていない」が 58.2%となり、住民の過半数が公共交通の移動に対して不便を感じていない結果となった。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「感じている・やや感じている」が 34.6%、「あまり感じていない・感じていない」が 54.3%となっており、大きな変化はなかったものの、他の回答からも、より高いサービスを求めていることがわかる。



問3（1）で、1 または 2 を選択した、日常の公共交通での移動に不便を感じている人にお伺いします。

問3（2）不便を感じる理由は何ですか。（3 つまで○印）

- ・前問で、日常の公共交通での移動に不便を「感じている・やや感じている」と回答した人において、不便を感じると回答した理由は、「自宅から鉄道やバス停留所までが遠い」の割合が最も多く 62.0%である。次いで、「使いたい時間に運行していない、時間が合わない」が 55.9%、「行き先が合わない」が 29.8%である。
- ・自宅から鉄道やバス停留所までが遠いことや、運行時間が不便を感じる理由となっていることがわかる。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「自宅から鉄道やバス停留所までが遠い」の割合が最も多く 59.5%である。次いで、「使いたい時間に運行していない、時間が合わない」が 46.0%、「行き先が合わない」が 27.1%であった。



<その他の回答>

○コミュニティバスについて

- ・シルバーカーを使う人が多くて通路が通れない。（2 件）
- ・混雑時のシートベルト

○タクシーについて

- ・タクシーの台数が少ない。（8 件）

○名鉄について

- ・名鉄の料金が安い。
- ・駅まで行かないと時刻表がない。

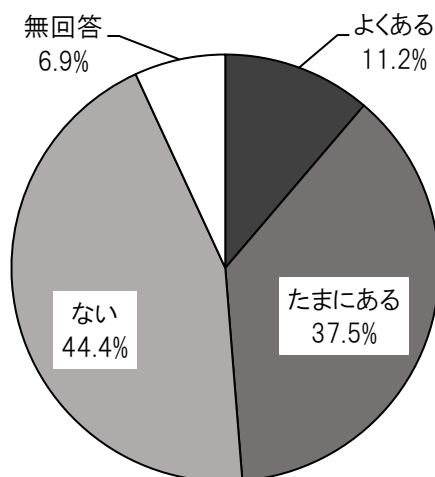
○公共交通全般

- ・自動車の方が便利（2 件）
- ・待ち時間、天気、荷物が多いと困る。
- ・荷物を運べない。

問3（1）で、1 または 2 を選択した、日常の公共交通での移動に不便を感じている人にお伺いします。

問3（3）不便を感じたことにより、外出を控えたことがありますか。（1 つに○印）

- ・問3（1）で日常の公共交通での移動に不便を「感じている・やや感じている」と回答した人において、外出を控えたことが「ない」が 44.4%、「たまにある」が 37.5%、「よくある」は 11.2%であった。
- ・「よくある」の 11.2%と「たまにある」の 37.5%を合わせると 48.7%であり、約半数の人が外出を控えたことがあると回答している。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「よくある」3.6%、「たまにある」が 11.0%で、合わせると 14.6%であり、今回の調査では、外出を控えたことがある人の割合が大幅に増えている結果となった。

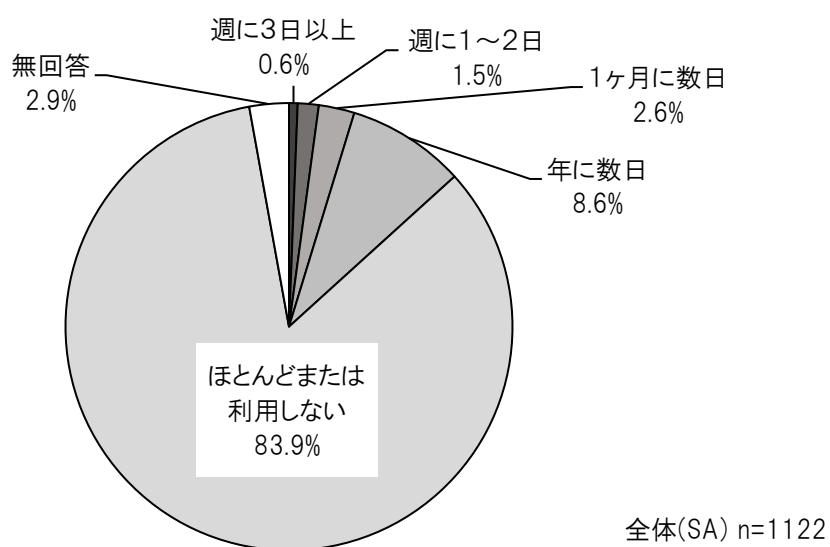


公共交通での移動の不便さを「感じている」「やや感じている」を回答された方(SA)
n=392

(4) 武豊町のコミュニティバスについて

問4 (1) あなたはコミュニティバスをどの程度利用されますか。(1つに○印)

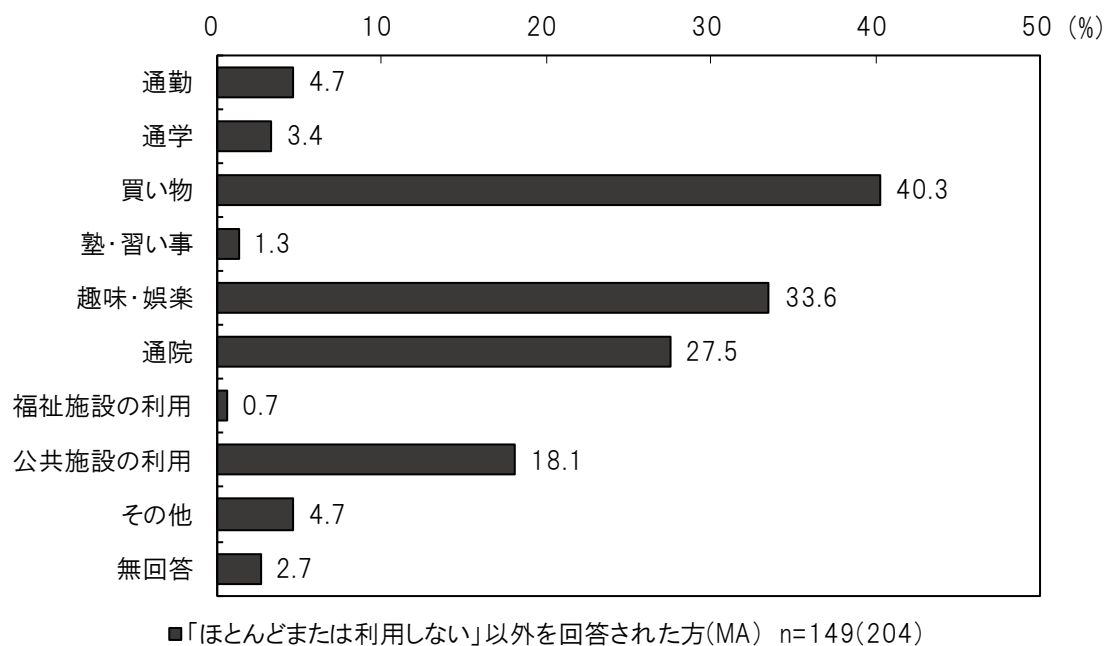
- ・コミュニティバスの利用状況は、「ほとんどまたは利用しない」が 83.9%とする一方で、「年に数日」以上の利用者は、13.3%であった。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「ほとんどまたは利用しない」が 81.9%、「年に数日」以上の利用者は、13.3%であった。
- ・コミュニティバスの利用者数は増加しているものの、本問の利用割合は前回調査からほとんど変化がないため、同じ利用者が月に複数回利用する機会も多いと考えられる。



問4（1）で1～4を選択したコミュニティバスを利用される方にお聞きます。

問4（2）コミュニティバスの主な利用目的をお答えください。（2つまで○印）

- ・コミュニティバスを利用している人に主な目的を尋ねたところ、最も多いのは「買い物」で40.3%、次いで「趣味・娯楽」が33.6%、「通院」が27.5%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、最も多いのは「買い物」で48.1%、次いで「通院」が33.8%、「趣味・娯楽」が24.0%であったため、今回調査では、「通院」の割合よりも「趣味・娯楽」の割合が上回る結果となった。



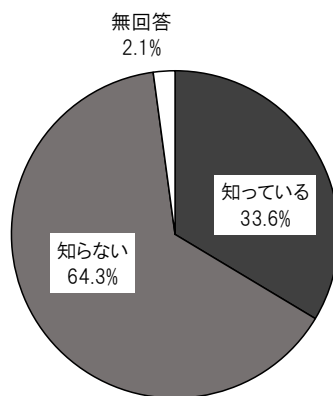
<その他の回答>

- ・保育園の送迎
- ・子どもがバスに乗りたがるから

(5) 武豊町の接続タクシー(コミュニティバスに接続するタクシー)について

問5 (1) あなたは「接続タクシー」を知っていますか。(1つに○印)

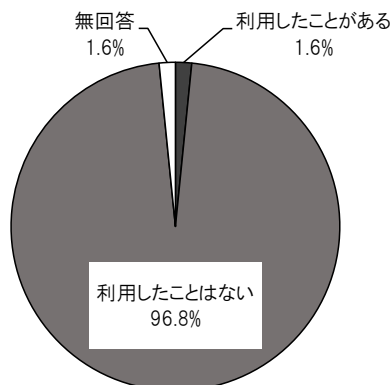
- ・接続タクシーを「知っている」が 33.6%、「知らない」が 64.3%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、選択肢が「利用方法も含めて知っている」「利用方法は知らないが、名前は知っている」「知らない」としていた。
- ・割合については、「利用方法も含めて知っている」が 12.4%、「利用方法は知らないが、名前は知っている」が 38.7%、「知らない」が 44.4%であった。
- ・調査結果からも、今後も継続した周知が必要である。



全体(SA) n=1122

問5 (2) あなたは「接続タクシー」を利用したことはありますか。(1つに○印)

- ・接続タクシーを「利用したことがある」が 1.6%、「利用したことはない」が 96.8%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「利用したことがある」が 1.6%、「利用したことはない」が 92.3%であった。（無回答：6.2%）
- ・利用実績や調査結果が示すとおり、一部の住民の利用にとどまっている。



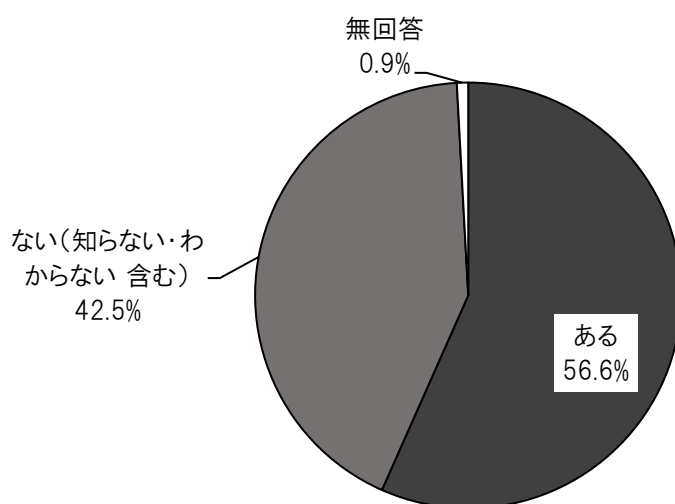
「知っている」と回答された方(SA) n=377

(6)コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由

コミュニティバスや接続タクシーを「利用しない（知らない）方だけ」にお伺いします。

問6（1）あなたのお住まいの近くに停留所はありますか。（1つに○印）

- ・コミュニティバスや接続タクシーを利用しない人に自宅の近くの停留所の有無を尋ねたところ「ある」が 56.6%、「ない（知らない・わからない 含む）」が 42.5%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「ある」が 53.5%、「ない（知らない・わからない 含む）」が 35.1%であった。（無回答：11.4%）

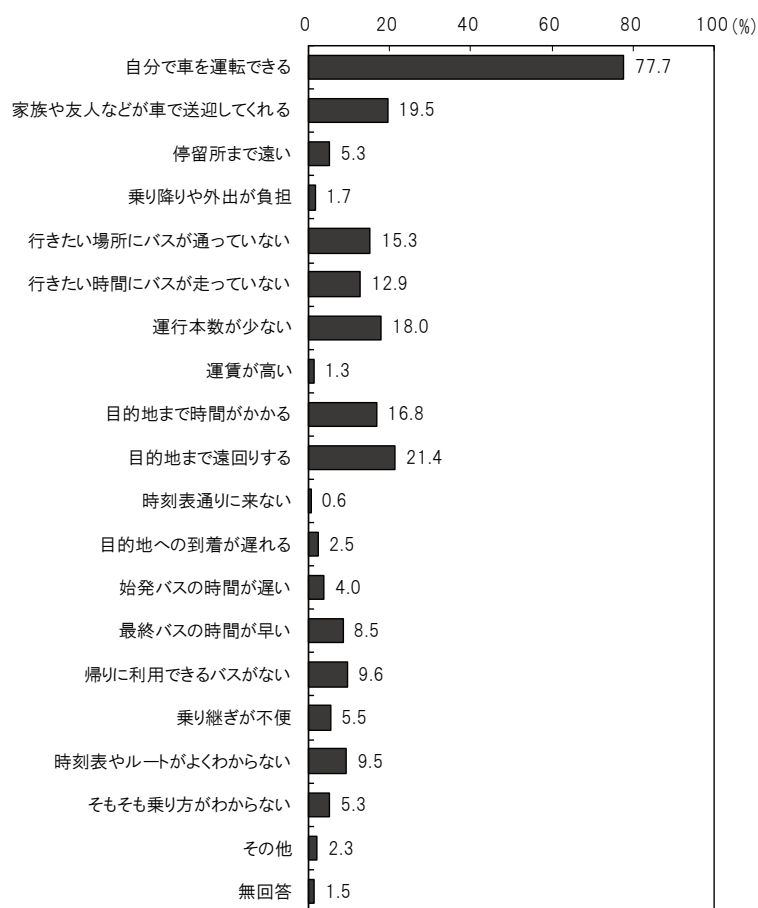


問5(1)「知らない」、問5(2)「利用したことはない」を回答された方(SA) n=934

問6（1）で「ある」と回答された方にお伺いします。

問6（2）あなたが「コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○印）

- ・自宅の近くに停留所が「ある」人にコミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由を尋ねたところ、「自分で車を運転できる」の割合が最も多く 77.7%である。次いで、「目的地まで遠回りする」が 21.4%、「家族や友人などが車で送迎してくれる」が 19.5%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「自分で車を運転できる」の割合が最も多く 77.6%であった。次いで、「家族や友人などが車で送迎してくれる」が 20.8%、「目的地まで遠回りする」が 19.0%であった。
- ・自分で車を運転できる人が多くいる一方で、「目的地まで遠回りする」「目的地まで時間がかかる」など、運行時間の関係が利用しない理由にもなっている。



■ 住まい近くに停留所が「ある」と回答された方(MA))n=529(1264)

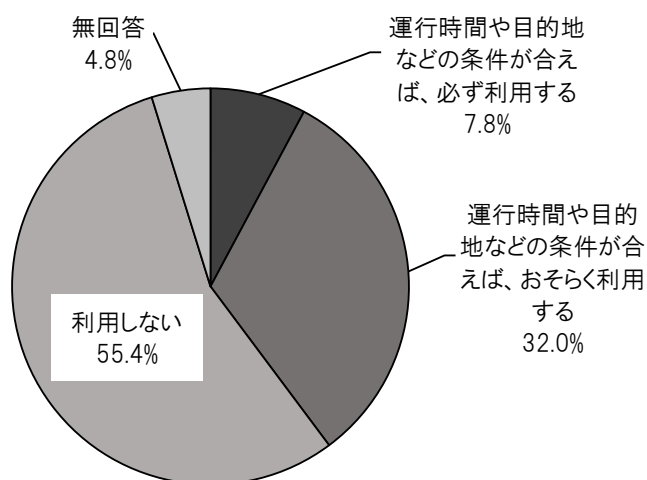
<その他の回答>

- ・自転車移動している。（4件）
- ・遠くまで行かない。
- ・徒歩でいい。
- ・満員のバスは利用しづらい。

問6（1）で「ない（知らない・わからない 含む）」と回答された方にお伺いします。

問6（3）自宅の近くにバス停が設置されたら、あなたはコミュニティバスを利用しますか。
（1つに○印）

- ・自宅の近くに停留所が「ない」人にバス停が設置された場合の利用意向を尋ねたところ、「利用する」（「運行時間や目的地などの条件が合えば、必ず利用する」と「運行時間や目的地などの条件が合えば、おそらく利用する」の合計）が 39.8%である一方で、「利用しない」は 55.4%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「利用する」（「運行時間や目的地などの条件が合えば、必ず利用する」と「運行時間や目的地などの条件が合えば、おそらく利用する」の合計）が 43.2%である一方で、「利用しない」は 54.6%である。（無回答：2.1%）
- ・利用しない理由が示すとおり、自動車の利便性が上回っているため、利用しない人が過半数いる一方で、運行時間や目的地が改善されれば、利用する割合が増加するものと考えられる。

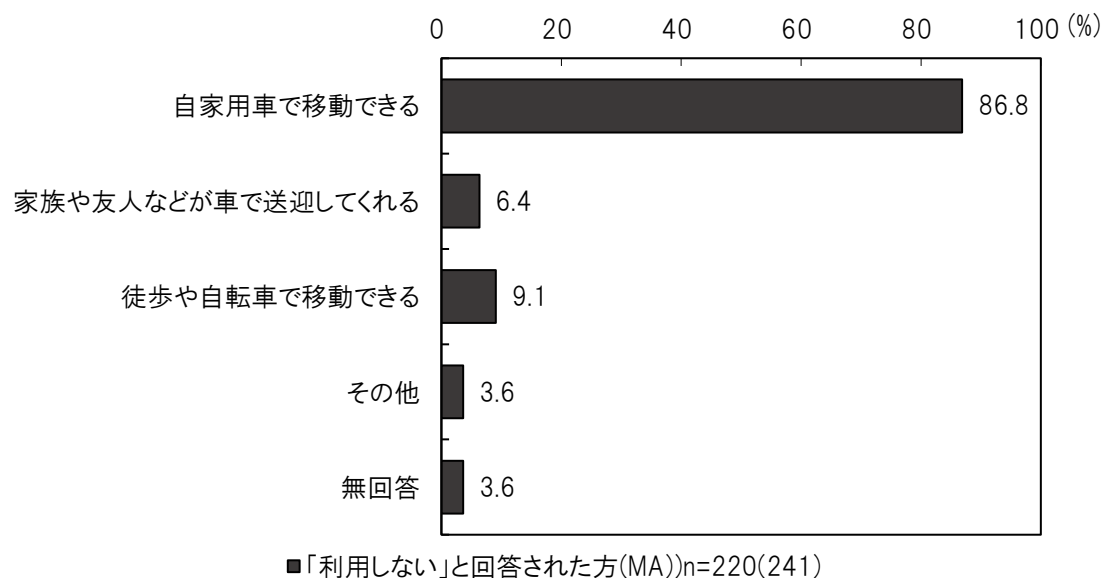


住まいの近くに停留所が「ない」と回答された方(SA) n=397

問6（3）で「利用しない」と回答された方にお伺いします。

利用しない理由をお聞かせください

- ・自宅の近くに停留所が「ない」人にバス停が設置されてもコミュニティバスを利用しない人に理由を尋ねたところ、最も多いのは「自家用車で移動できる」が86.8%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）でも、自家用車で移動をすると答えた割合は71.0%であり、自家用車での移動が優先されている。



<その他の回答>

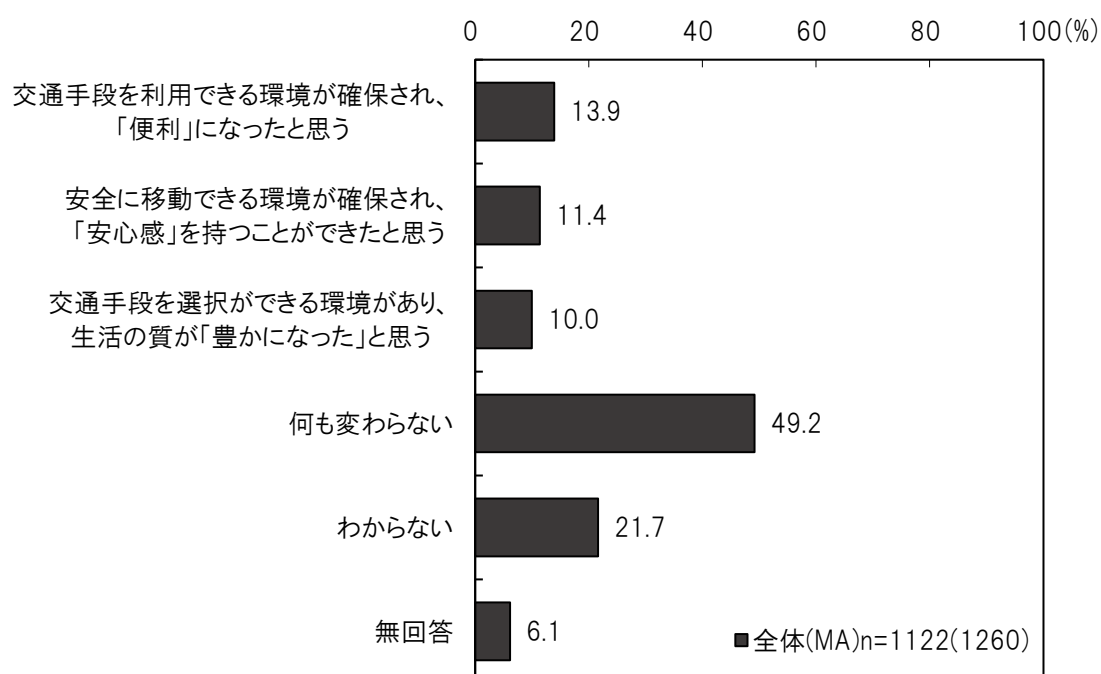
- ・運転できなくなったら利用する（2件）
- ・バス停まで行けない（2件）
- ・子どもを2人連れての移動は大変なので。

(7)コミュニティバスや接続タクシーの事業実施効果について

問7 コミュニティバスは平成22年7月、接続タクシーは平成23年9月から運行しています。これまでも、コミュニティバスのルート・ダイヤ、接続タクシー制度などを随時見直し、利便性向上および利用者数増加に努めています。事業実施による、あなたの生活の変化についてお聞かせください。

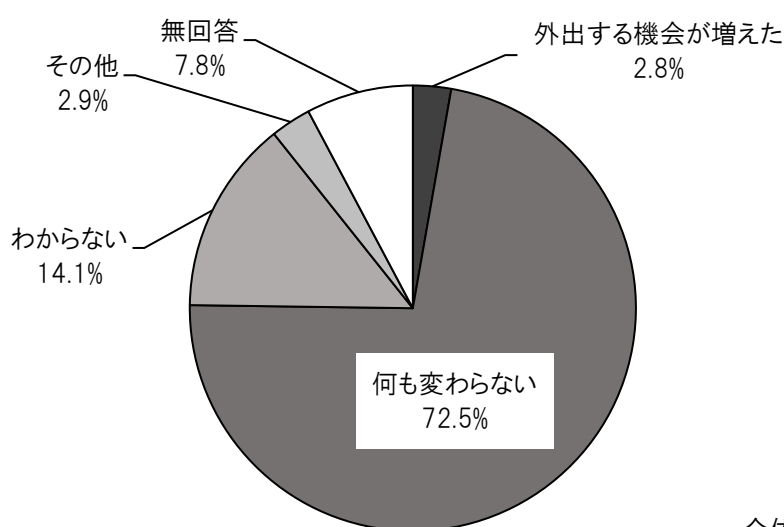
(1) 「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

- ・コミュニティバスや接続タクシーの導入により、生活環境に対する変化の状況については、「何も変わらない」が49.2%。一方で、「交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う」が13.9%、「安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う」が11.4%、「交通手段を選択ができる環境があり、生活の質が「豊かになった」と思う」が10.0%で、何らかの変化があった合計は35.3%であった。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「何も変わらない」が45.9%。一方で、選択肢が若干異なるものの、「新しい交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う」が15.4%、「安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う」が9.6%、「バス交通が無い交通空白地域だった時と比べて、生活の質が「豊かになった」と思う」が7.7%で、合計は32.7%であった。



問7（2）「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活の中で、
外出する機会が増えましたか。（1つに○印）

- ・外出機会の変化については、「何も変わらない」が 72.5%、「外出する機会が増えた」は 2.8%であった。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「何も変わらない」が 67.0%、「外出する機会が増えた」は 3.7%であった。
- ・コミュニティバスや接続タクシーは移動手段として利用されているものの、外出する機会（きっかけ）が大きく増加しているわけではない。



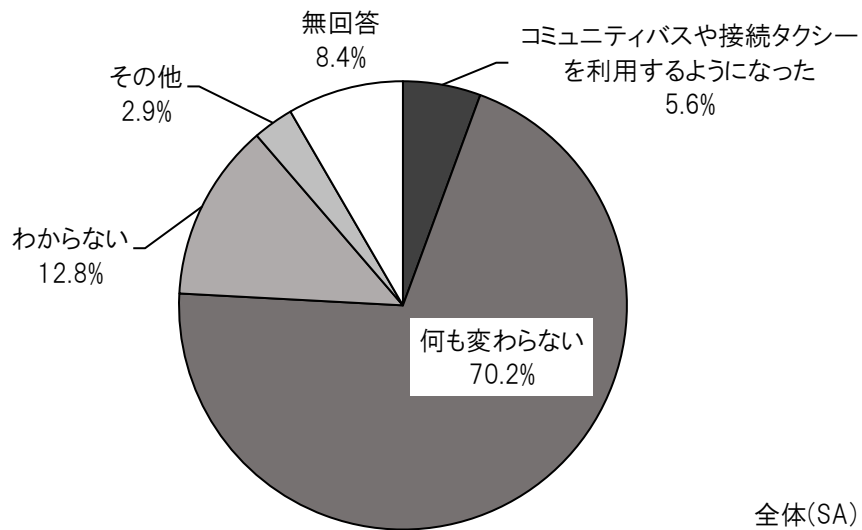
全体(SA) n=1122

<その他の回答>

- ・子どもがよく利用しており、外出機会が増えた。

問7（3）「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活の中で、
移動手段・行動について変化がありましたか。（1つに○印）

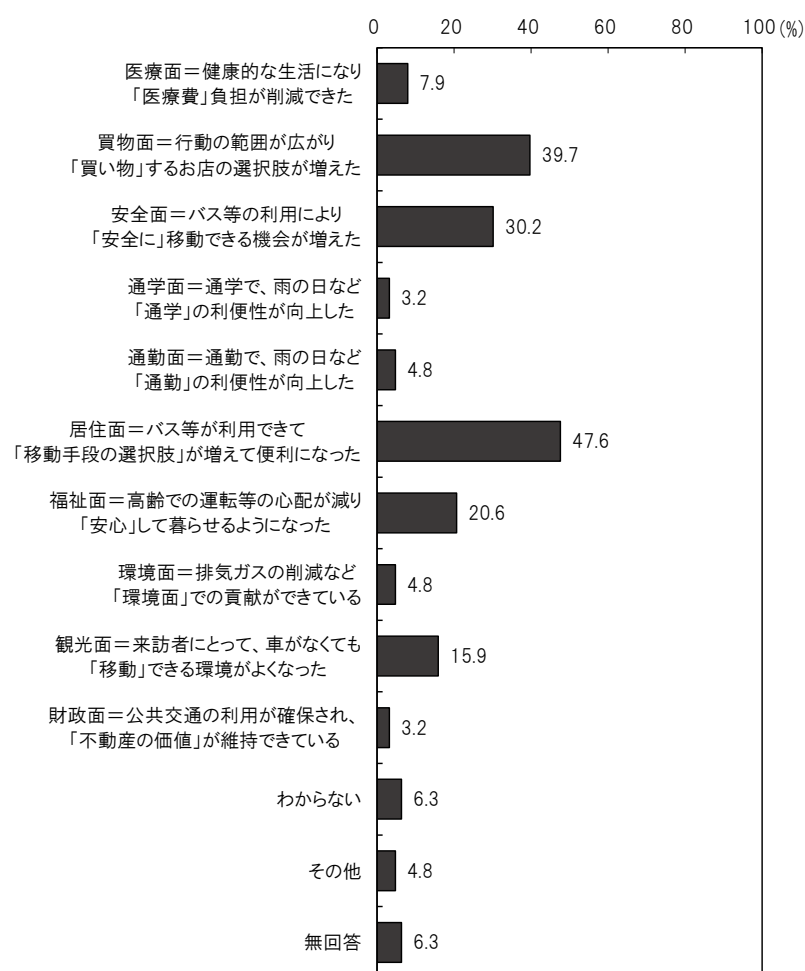
- ・移動手段・行動の変化については「何も変わらない」が70.2%、「コミュニティバスや接続タクシーを利用するようになった」は5.6%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「何も変わらない」が66.7%、「利用するようになった」は4.3%であった。



問7（3）で「コミュニティバスや接続タクシーを利用するようになった」と回答された方にお伺いします。

問7（4）コミュニティバスや接続タクシーを利用することにより感じられた変化は何ですか。（3つまで○印）

- ・コミュニティバスや接続タクシーを利用することで感じた変化については、
「居住面＝バス等が利用できて「移動手段の選択肢」が増えて便利になった」の割合が最も多く 47.6%である。次いで、「買物面＝行動の範囲が広がり「買い物」するお店の選択肢が増えた」が 39.7%、「安全面＝バス等の利用により「安全に」移動できる機会が増えた」が 30.2%である。



■「コミュニティバスや接続タクシーを利用するようになった」と回答された方(MA) n=63(123)

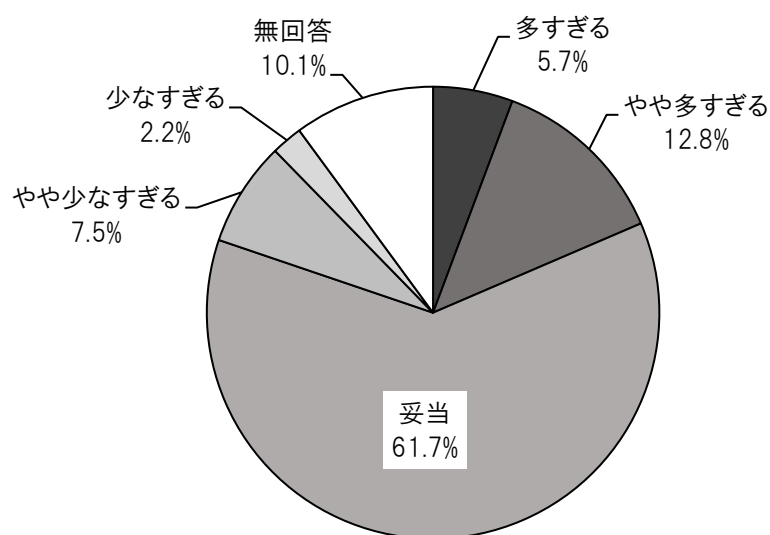
<その他の回答>

- ・普段車では通らないルートを走るの、新しい発見があった。
- ・雨の日の通院などの利便性

(8)コミュニティバスや接続タクシーの事業評価等について

コミュニティバスや接続タクシー等の事業全体の予算に対する負担額について
問8（1）自家用車に依存せず、安心して移動できる環境を維持・拡充していく必要がある中で、現状の負担額をどう思いますか。（1つに○印）
※負担額：1世帯当たり年間約3,129円（月当たり261円）

- ・負担額に対する意見としては、「妥当」が61.7%。次いで、「多すぎる（多すぎるとやや多すぎる）」が18.5%、「少なすぎる（少なすぎるとやや少なすぎる）」が9.7%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「妥当」が60.1%。次いで、「多すぎる（多すぎるとやや多すぎる）」が16.2%、「少なすぎる（少なすぎるとやや少なすぎる）」が10.0%であった。



全体(SA) n=1122

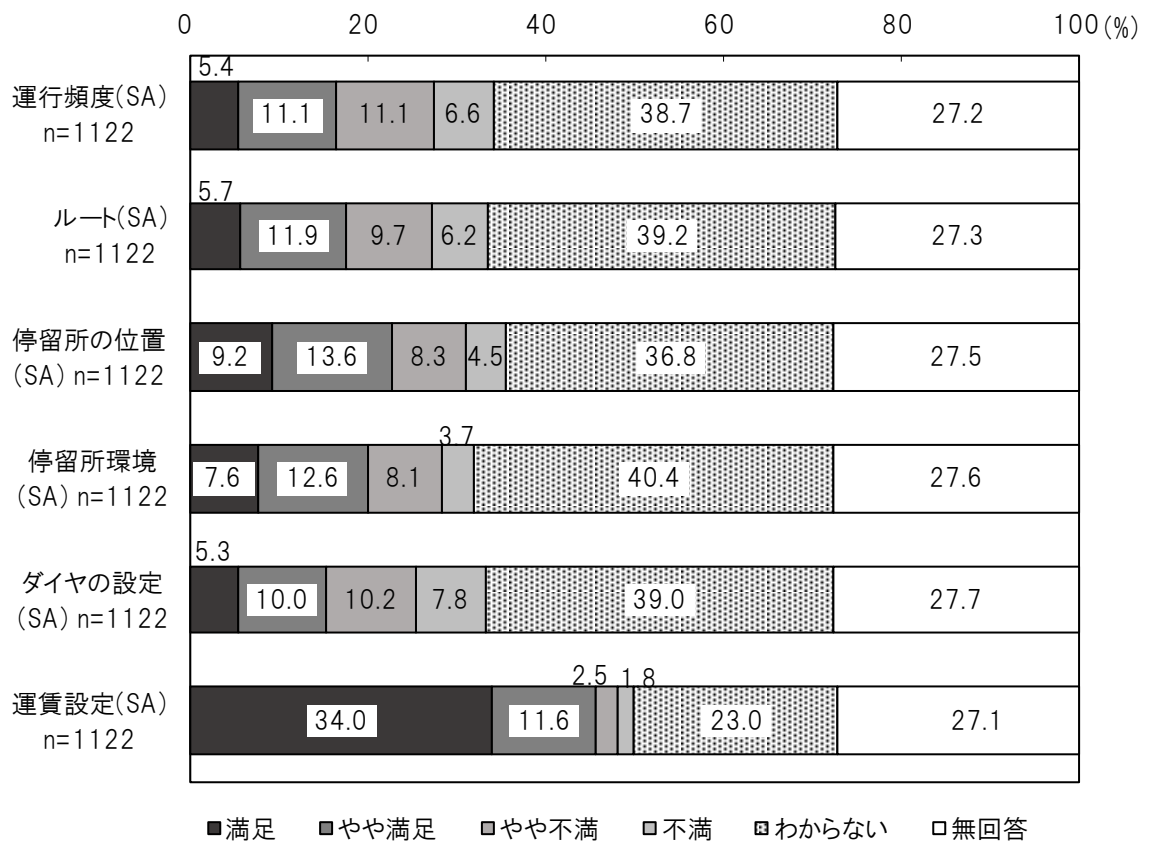
コミュニティバスの事業評価について

問8（2）コミュニティバスについて、以下の①から⑥までの項目を1～5の5段階でルートごとに評価をお願いします。（それぞれ1つに○）

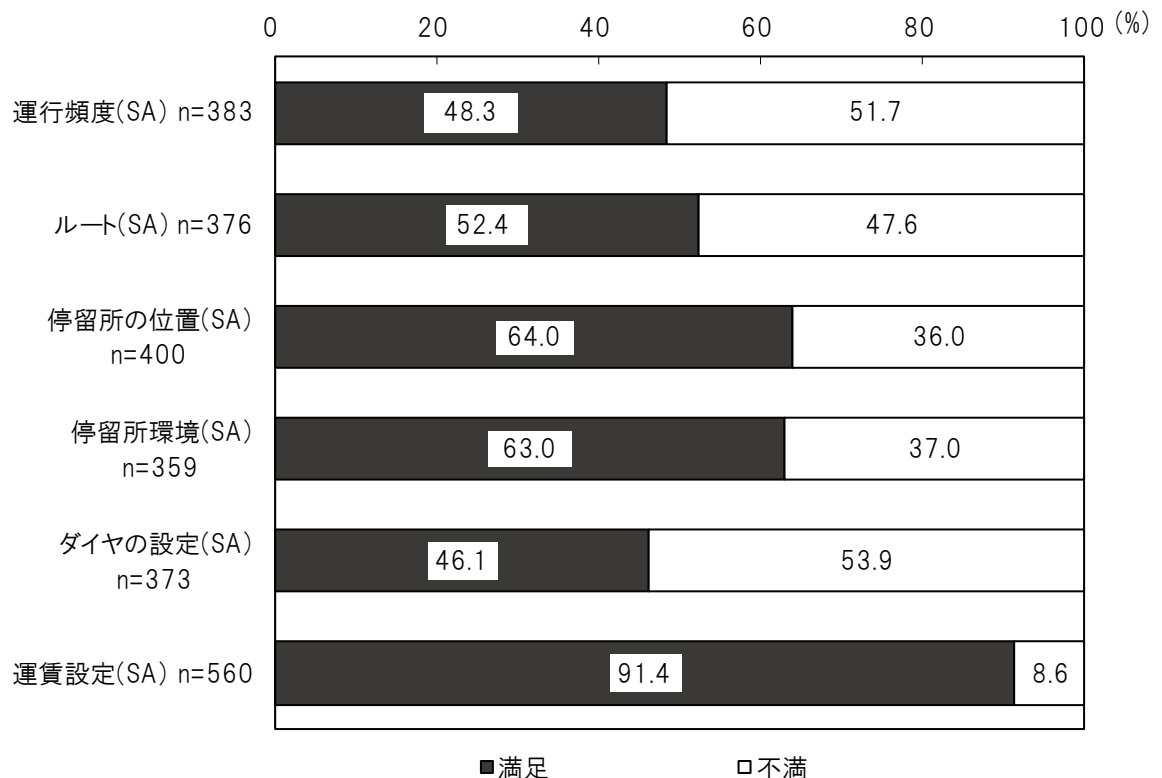
さらに、特に不満と思う点などあればその内容をお書きください。

【赤ルート】

- ・赤ルートの評価としては、「ダイヤ設定」「運行頻度」に対する不満が他の項目と比べて高い。一方で「運賃設定」に対しては評価が高い。



○満足・不満のみとした場合の割合



<赤ルートの不満点、改善点>

【バス全般について】

- ・バスの通路が狭い。シルバーカーがあると降りるときに大変（2件）
- ・子どもが使いやすいようにしてほしい。
- ・運賃が高くてもし便性のあるバスであってほしい。
- ・満員になることが多々ある。
- ・赤ルートの運転手の態度が悪い。お客様を乗せると意識持つべきです。

【運行頻度】

- ・運行本数が少ない。1時間に1本は少なすぎる。（16件）

【ルートについて】

- ・逆コースがあるとよい。（22件）
- ・行きたい場所に行けない。（5件）
- ・もう少しキメ細かいルートがいい。（2件）
- ・ルートの距離が長すぎて目的地までの時間がかかりすぎる。（2件）
- ・目的地までのルートが遠廻りしている気がする。ルート選択がうまくできない為、利用する気にならない。

- ・知多、武豊（役場）で乗りかえしないと目的地に帰れない。
- ・赤ルートは武豊中央公園でも乗り継げるようにして欲しい。
- ・平井から東方向のルートがない。
- ・町の中心が主な路線なので不十分
- ・通勤通学の足にならないルート
- ・基本的に武豊町役場での無理な接続をして1時間で回ることが無駄だと考えます。個人的には、赤ルートは青山起点に現ルートと上ヶ駅経由平井辺りを通り鹿ノ子田方面に戻る運用を交互に入れれば、1時間に30分サイクルで運用できると思います。

【停留所の位置】

- ・停留所を増やして欲しい。（8件）
- ・近くにバス停がない。（4件）
- ・停留所をもっとわかりやすくしてほしい。（3件）

【停留所の環境】

- ・停留所にイスがない所があったり、雨の日にはぬれて待たないといけないので対策していただきたい。（6件）
- ・車を利用しているが、停留所で待っている人を見ると、大変そう、何かさびしそう。コミュニケーションが取れる明るい待合室、話ができる所があるとよい。

【ダイヤの設定】

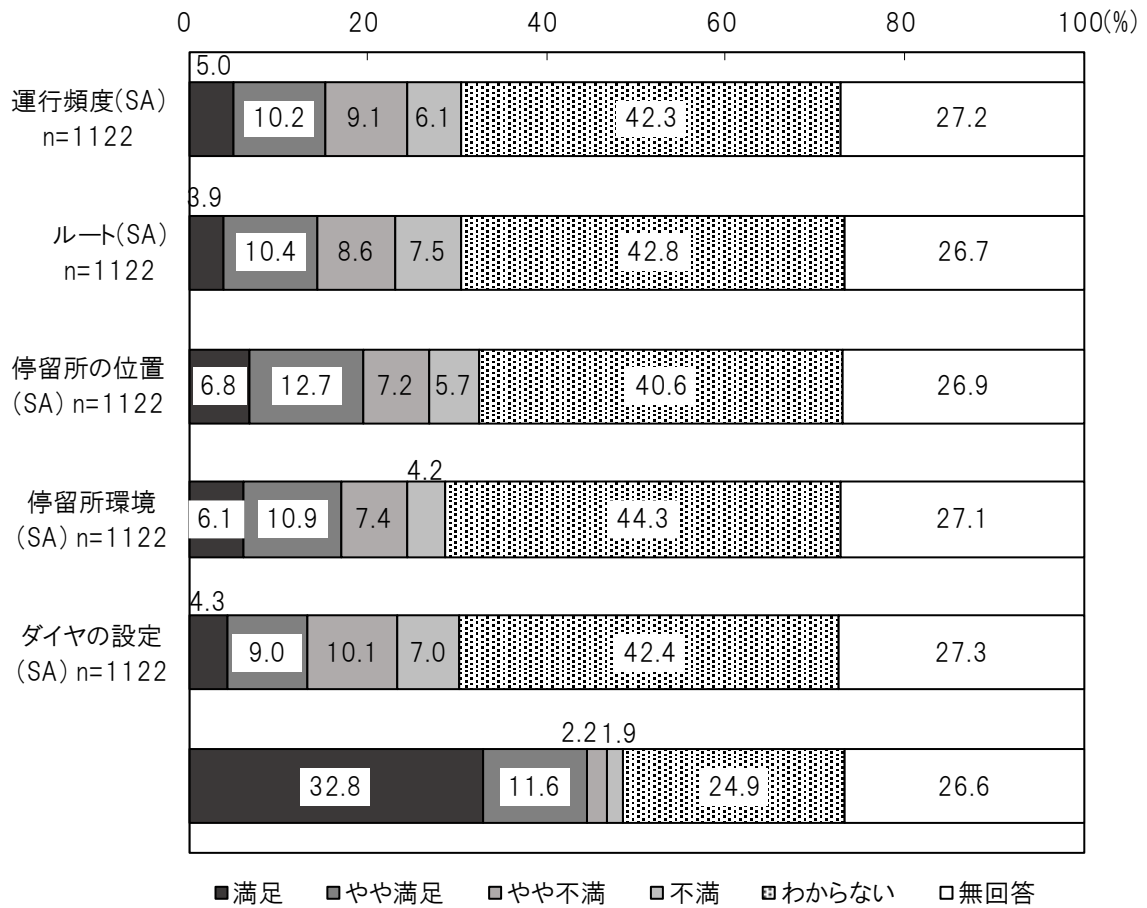
- ・通勤、通学時間に走っていない。（12件）
- ・最終時間が早すぎる。（10件）

【運賃設定】

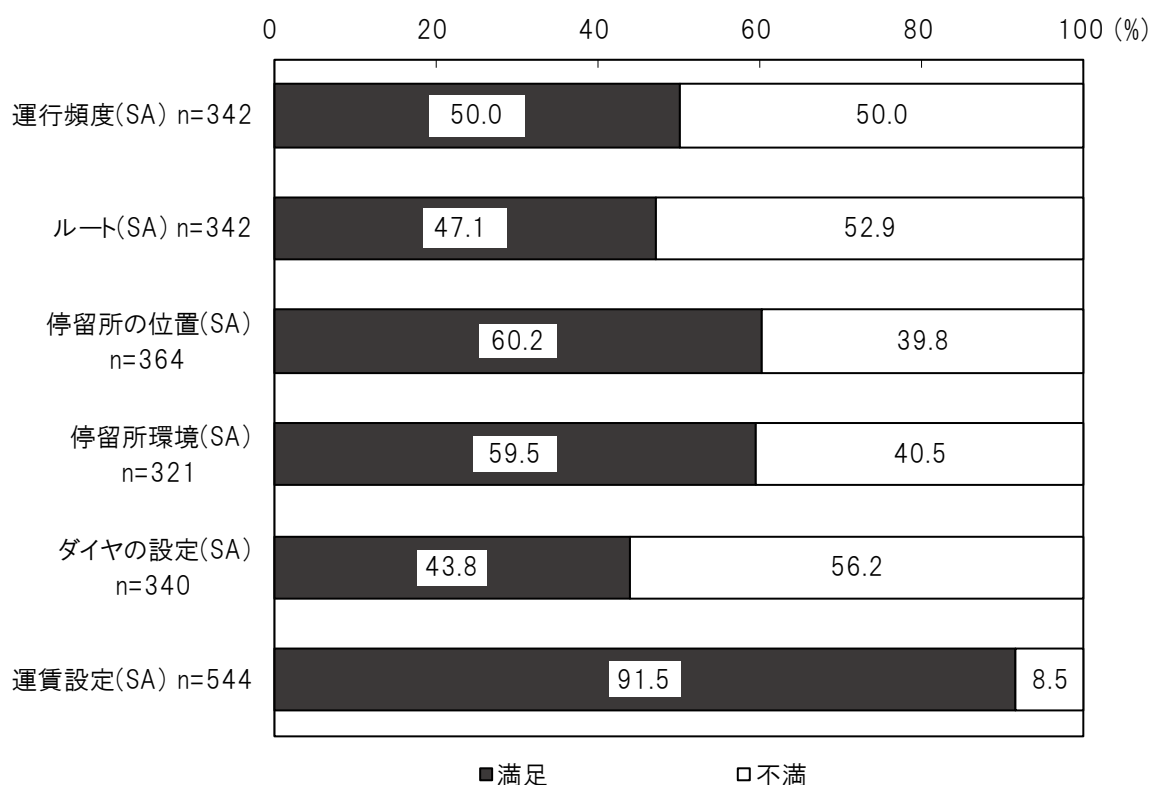
- ・もう少し利用者負担を増やせば良いと思う。（5件）
- ・無料にした方がいい。（4件）
- ・運賃をあげるか、利用率を上げる取り組みをするべきだと思う。

【青ルート】

- ・青ルートの評価としては、「ダイヤの設定」「ルート」に対する不満が他の項目と比べて高い。一方で「運賃設定」に対しては評価が高い。



○満足・不満のみとした場合の割合



<青ルートの不満点、改善点>

【バス全般について】

- ・シルバーカーで乗り降りが出来ないのが大変です。
- ・Google Mapなどに停留所がわかりやすく表示されればもっと利用する人も増えると思う。ダイヤ・停留場所・所要時間なども表示する。
- ・赤と青の接続、連絡化。他のコミュニティバスとの連絡を密に。
- ・手を上げればどこでも止まってくれて乗れたらよい。

【運行頻度】

- ・1時間に1本は少ないので、30分に1本に増便できればよい。(8件)
- ・ゆめたろうプラザで大きな公演があるときくらいは臨時便を出して欲しい。

【ルートについて】

- ・反対周りもあったらよい。(19件)
- ・行きたい場所に走っていない。(14件)
- ・目的の場所に行くまで時間がかかる。(9件)
- ・ルート変更になり、いままで利用していたが、今は利用しなくなった。(4件)
- ・富貴駅より南にも、半分の便数でも良いのでルートに加えて欲しい。
- ・広範囲で走らせている。もう少し武豊と富貴を分けて乗り換えにしたら便利になる。皆がどこに行きたいのかもっと調査して走らせて欲しい。
- ・町内を細かく分けて運行してほしい。

【停留所の位置】

- ・近くに停留所がない。(2件)
- ・バス停の増設を望みます。
- ・赤と青の相互乗り入れができる停留所がもう少し増えると使いやすいです。

【停留所の環境】

- ・停留所に雨避けがない。

【ダイヤの設定】

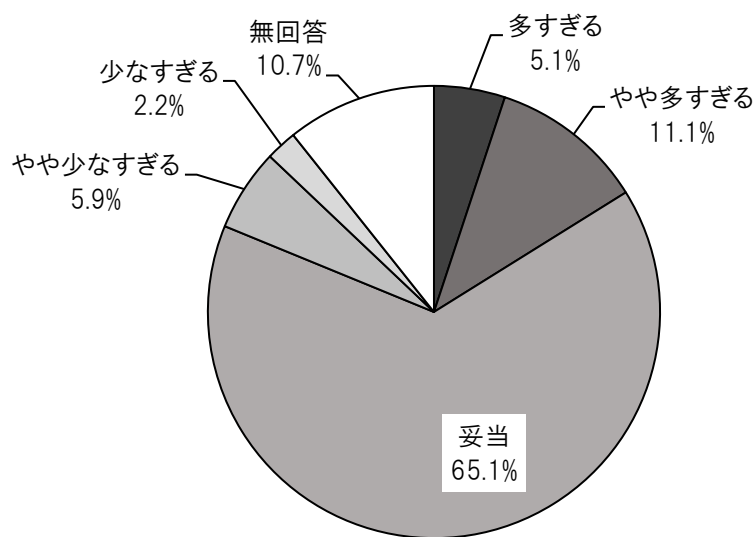
- ・最終が早い。(6件)
- ・通勤の時間帯の丁度いいダイヤが無い。(2件)
- ・もっと朝早くに運行してほしい。
- ・お昼の時間帯も運行してもらえると有難いです。

【運賃設定】

- ・無料にした方がいい(3件)
- ・赤ルートへの乗り継ぎは追加で100円が必要なこと。

問8（3）コミュニティバスの運行事業に限って（接続タクシー等を除く）は、予算として3,929万円を計上しています。この金額は、1世帯当たりでは年間約2,055円（月当たり171円）の負担となります。現状の負担額をどう思いますか。（1つに○）

- ・一世帯当たりの負担額に対する意見としては、「妥当」が65.1%。「多すぎる（多すぎるとやや多すぎるの合計）」は16.2%、「少なすぎる（少なすぎるとやや少なすぎるの合計）」は8.1%である。
- ・本問の「コミュニティバスの運行事業に限った負担額について」も、問8.（1）の「コミュニティバスや接続タクシー等の事業全体の予算に対する負担額について」と同様な回答の割合となった。



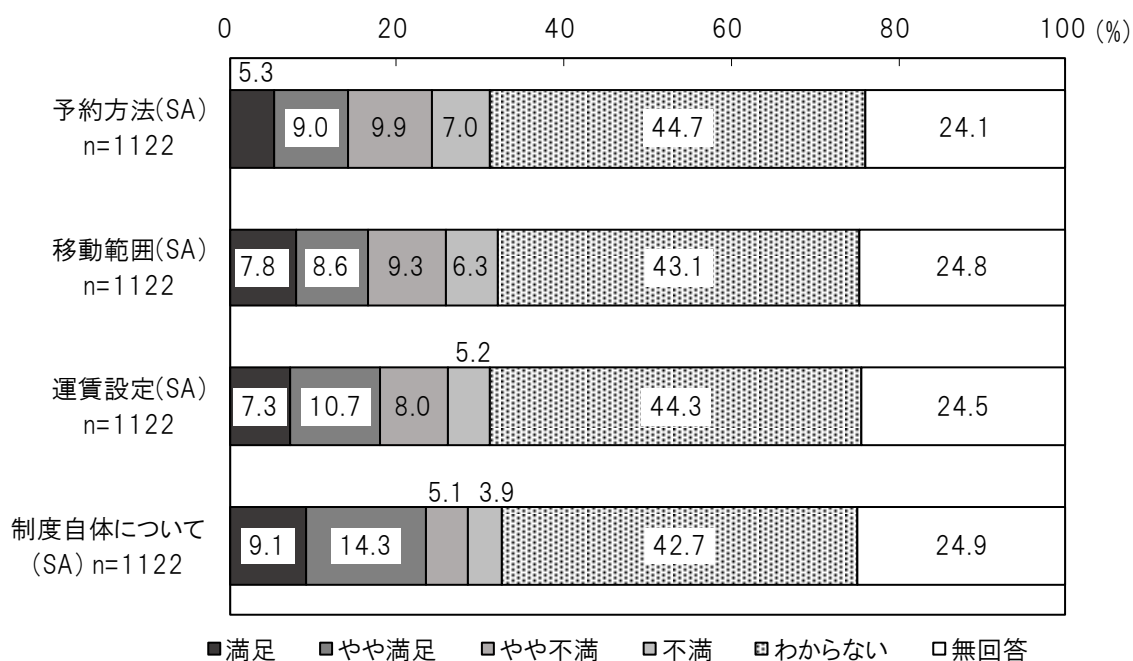
全体(SA) n=1122

接続タクシーの事業評価について

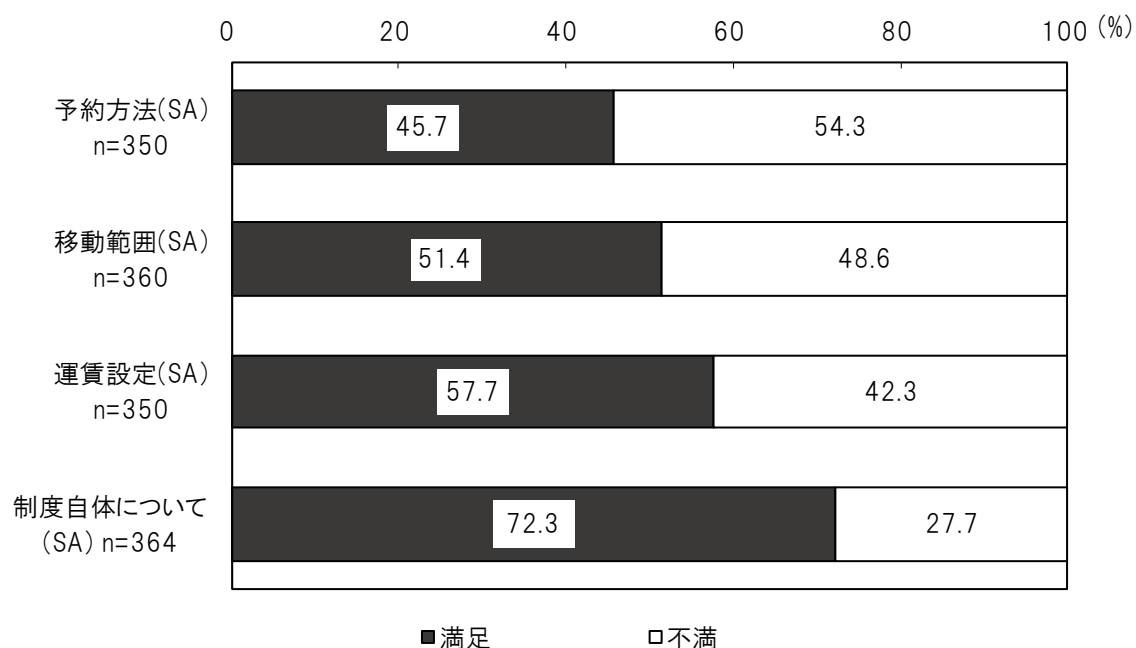
問 8（４）接続タクシーについて、以下の①から④までの項目を１～５の５段階で評価をお願いします。（１つに○印）

さらに、特に不満と思う点などあればその内容をお書きください。

- ・接続タクシーのサービス水準の評価としては「予約方法」に対する不満が高く、「制度自体について」に対しては評価が高い。
- ・予約方法については、電話ではなくネットやアプリでの予約を望む意見が見受けられる。
- ・制度自体については、停留所ではなく、指定された目的地を望む意見が見受けられる。



○満足・不満のみとした場合の割合



<接続タクシーの不満点、改善点>

【予約方法について】

- ・事前予約より、電話で呼んですぐ乗れるようにしてほしい。(7件)
- ・どこでも拾えると出先でも使えてよいと思う。
- ・アプリで予約を出来るようにした方が利便性は増すと思う。
- ・電話予約ではなく、ネットで予約ができればもっと予約しやすいのではないかな。

【運賃設定について】

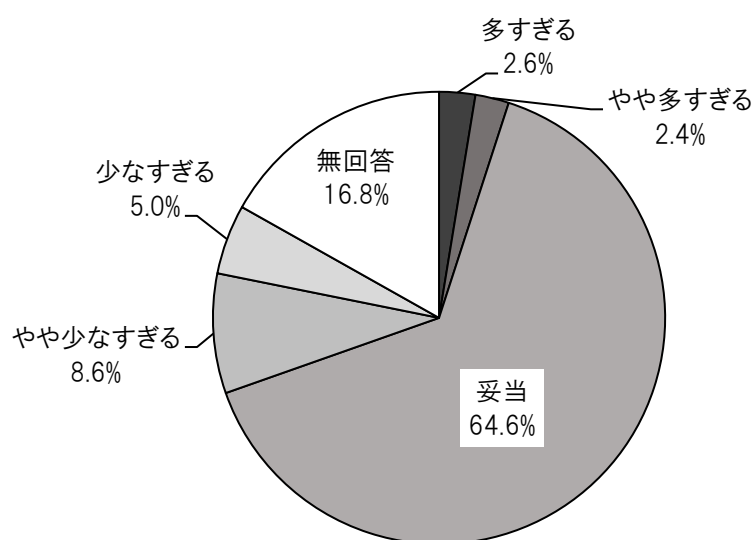
- ・バスと同額にすべき。
- ・最寄りのバスが遠い人はいくらタクシーを使っても高い。無料乗車券を配るなら1世帯に無料乗車券を年に5枚など配るべき。

【制度自体について】

- ・コミュバスの停留所が遠いため接続タクシーは使えない。(3件)
- ・不要(3件)
- ・認知度が低すぎる。(2件)
- ・親が利用する時、難しくて使えなかった。
- ・往復に対応できれば、利用頻度も増えるかもしれない。
- ・利用している人がどの様に感じているのでしょうか？それを分析することが必須です。
- ・接続タクシーを使わなくてもいいように運行の方法を考える。
- ・停留所までの接続タクシーではなく、半田市が導入しているシステムのように行き先を役場の方で指定してそこまでは直行で行けるようなシステムが良いと思う。
- ・タクシーを使ってまで停留所に行く意味がわからない。

問8（5）接続タクシーの事業に限っては、予算として96万円を計上しています。この金額は、1世帯当たりでは年間約50円（月当たり4円）の負担となります。現状の負担額をどう思いますか。（1つに○印）

- ・一世帯当たりの負担額に対する意見としては、「妥当」が64.6%。「多すぎる（「多すぎる」と「やや多すぎる」）」は5.0%、「少なすぎる（「少なすぎる」と「やや少なすぎる」）」は13.6%である。
- ・本問の「接続タクシーの事業に限った負担額について」も、問8.（1）の「コミュニティバスや接続タクシー等の事業全体の予算に対する負担額について」と同様な回答の割合となっているが、「少なすぎる」が「多すぎる」を上回る割合になっている。

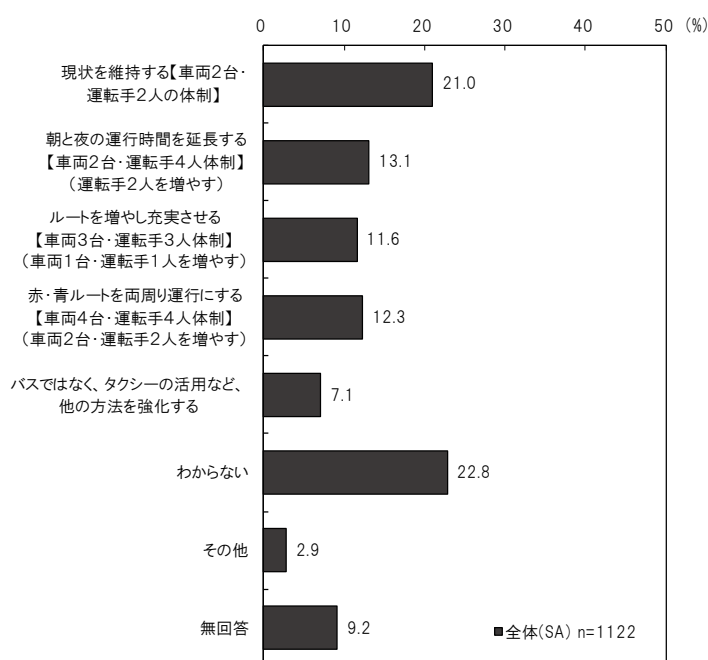


全体(SA) n=1122

(9)コミュニティバスや接続タクシーの将来のあり方について

問9 (1) コミュニティバスは、赤ルート・青ルートを車両2台・運転手2人体制で8時15分から17時45分まで、年中無休で運行しています。
 将来のあり方として、今後はどのように考えるべきでしょうか。
 あなたの考えに近いものを1つお選びください。(1つに○印)

- ・コミュニティバスの将来のあり方について、最も多い「わからない」の22.8%に次いで、「現状を維持する【車両2台・運転手2人の体制】」が21.0%。次いで、「朝と夜の運行時間を延長する【車両2台・運転手4人体制】(運転手2人を増やす)」が13.1%、「赤・青ルートを両周り運行にする【車両4台・運転手4人体制】(車両2台・運転手2人を増やす)」が12.3%である。
- ・前問で、現状の事業に対する負担額については妥当が多く、現状維持の割合も21.0%となっているが、将来的なあり方としては、何らかの方法で運行を充実すべきだという意見の割合も多い。

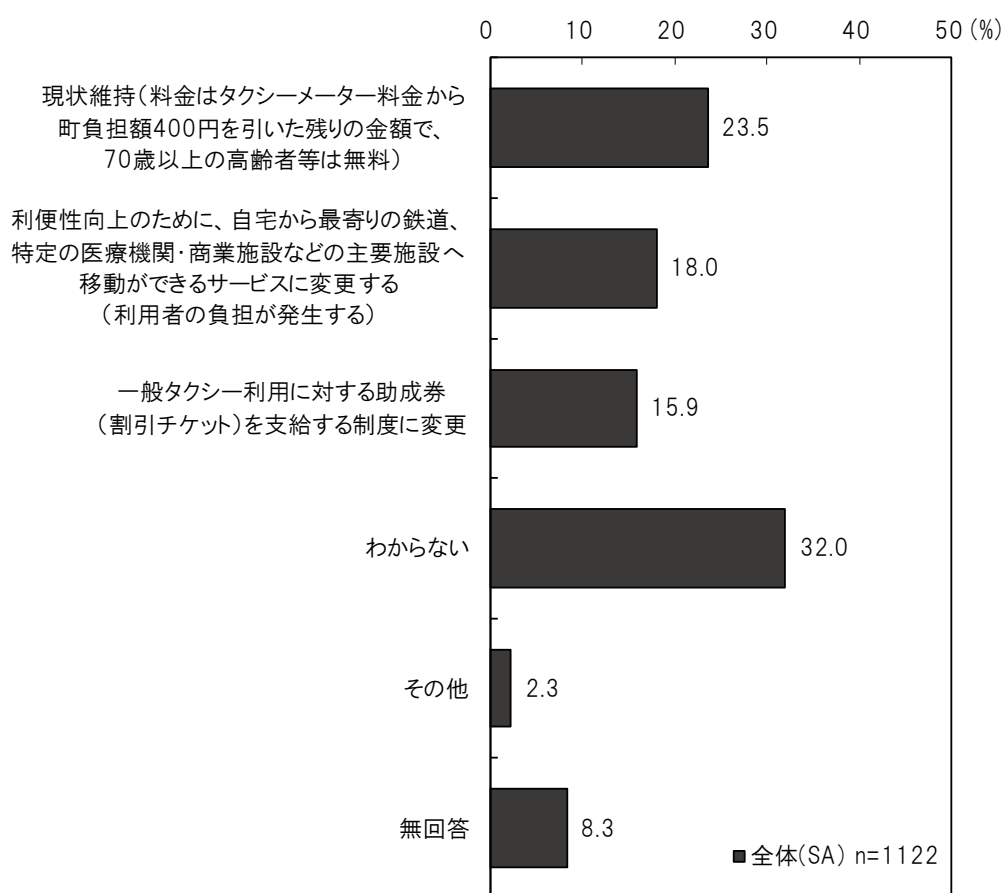


<その他の回答>

- ・停留所を増やす。(4件)
- ・広い道だけ通るバスよりも小型ワゴン車でよりきめ細かく利用者を取り込めるようにし、バスの通らない地域のカバーをしないといけないと考える。(3件)
- ・人が多いからバスを大きくしてほしい。
- ・利用しやすくする。無人化、多ニーズにこまめに対応する。
- ・多くの人に良いルートを作るのは難しい。
- ・バスを1時間に1本から1時間に3～4本に変更すれば利用しやすくなるのでは。
- ・人員を増やしてお昼も運行をお願いしたい。
- ・毎日乗り降りする人の統計を取って、多い時間は増やして少ない時間は減らした方がいいかもしれません。
- ・365日運行するのに運転手2人ではキツイと思う。体調不良等があったらどうするのですか？
- ・車が4台で運転手4人は多いような気がするため、試行運転を試みる。

問9（2）接続タクシーは、コミュニティバス停留所まで遠くて生活の足がないなどの問題解消を目的に、自宅と最寄りの停留所を移動できる交通手段、コミュニティバスを補完する移動サービスとして実施していますが、限られた利用にとどまっています。今後については、どのように考えるべきでしょうか。あなたの考えに近いものを1つお選びください。（1つに○印）

- ・接続タクシーの将来のあり方については、最も多い「わからない」の32.0%に次いで、「現状維持（料金はタクシーメーター料金から町負担額400円を引いた残りの金額で、70歳以上の高齢者等は無料）」の割合が最も多く23.5%である。次いで、「利便性向上のために、自宅から最寄りの鉄道、特定の医療機関・商業施設などの主要施設へ移動ができるサービスに変更する（利用者の負担が発生する）」が18.0%である。



<その他の回答>

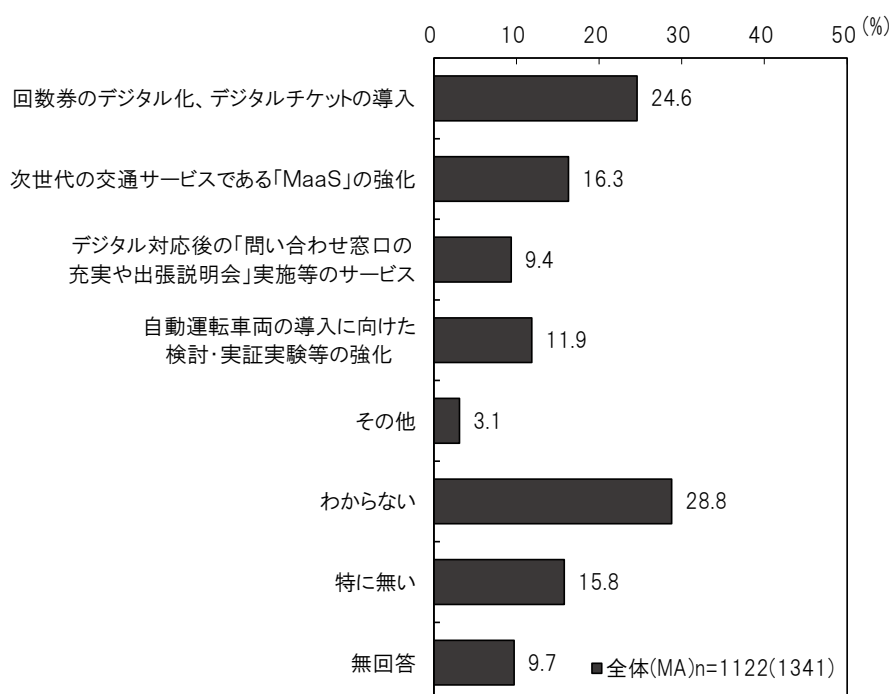
- ・町民が負担する金額は増やさないでほしい。（2件）
- ・現状維持と割引チケットを併用できないか？
- ・病人（重病人）、必要とする人は無料に。

(10) デジタル化・サービスの充実について

問 10 デジタル化として、経路検索サービスへの情報掲載のほか、令和 6 年度には、バスロケーションシステムや交通系 IC カードを利用できる環境を整備する予定です。今後も、武豊町ではサービスの充実に取り組んで参ります。あなたの考えについてお聞かせください。

(1) 今後のサービスについて、導入や強化等して欲しいことはありますか。(あてはまるものすべてに○印)

- ・今後、導入や強化してほしいサービスは、最も多い「わからない」の 28.8%に次いで、「回数券のデジタル化、デジタルチケットの導入」が 24.6%、「次世代の交通サービスである「MaaS」の強化」が 16.3%である。



<その他の回答内容>

- ・デジタル化ではなく、だれでもわかる簡単なものにしてほしい。(10 件)
- ・今のままで良い。(6 件)
- ・スイカやマナカが利用できるとよい。(3 件)
- ・交通系 IC カードのみではなく、ペイペイなどのキャッシュレス決済も導入した方がよい。
- ・キャッシュレス決済を採用しマイナンバーカードへ統合
- ・デジタル化に大金をかけるより、高齢者に移動手段のための割引制度を充実してほしい。
- ・高齢者が多いのにデジタル化に費用を使うのは如何か。それよりバスの台数を増やして欲しい。
- ・アナログもデジタルも両方に対応を続けてほしい。
- ・デジタル化を進めるために税金を投入するなら、全町民に公平に還元をするべき。

問10(2) 交通サービス充実のために、今後はどのような対応をするべきだと思いますか。
アイデアがありましたら、ご自由にお書きください。

<その他の回答>

【サービス全般】

- ・児童・学生が安心して利用できる交通サービスの選択肢があったら有難いです。(2件)
- ・近隣の自治体や名鉄 JR との連携でしょうか。
- ・この先、免許返納後利用するようになった時、デジタル化などで高齢者が戸惑わないことが望みです。
- ・高齢者また障害者が安心して免許を返上できるよう、交通網が便利になるとよい。

【ルートについて】

- ・費用がかかるかもしれませんが、両周り運行が便利だと思います。(3件)
- ・町外へのルートを拡大すると利便性が増し、利用者も多くなると思う。
- ・武豊町内をなるべく細やかに、町民がだれでも利用できるルートを通るように思う。

【停留所について】

- ・病院の近くに停留所があると助かります。
- ・バス停の場所がわかりにくいし夏は屋根のない炎天下の中待つのは命の危険を感じるの
で、屋根付きバス停が必要かと思う。
- ・コミュニティバスを利用したくても近くにバス停がない。

【ダイヤについて】

- ・最終時間が早過ぎて不便を感じます。(2件)
- ・もう少し朝早くと夕方の時間が遅くまで運行していたら、利用者が増えると思う。今は、高齢者専用となっている。

【運賃設定】

- ・無料にして利用率を上げると、買物に行き外で金を使うから街も活性化するのではない
か。
- ・名古屋市のように高齢者パスはどうでしょう？ある程度制限を設けて、80代以上限定
で。外出する機会が増えると健康寿命ものびるのでは。
- ・学生も無料にしてほしい。
- ・時間帯による利用料金の設定、朝・夜、通勤・通学利用時間帯は高めに、昼間は安く。

【現状維持】

- ・高齢化が進んでおり、利用が増加すると思うので継続してほしい。免許返納者も増える
と思う。(8件)

- ・デジタル化もよいと思いますがお年よりが使用するのが多いと思うのでデジタルと今のままで！（2件）
- ・デジタル化も良いですが、デジタルが苦手な人は一定数いると思います。手続きが面倒と感じれば逆に利用者は減るかもしれません。そこの検討や試験は慎重にお願いします。

【負担額、経費などについて】

- ・名古屋市バスは高齢者以外にも多数が利用し収益が見込めるが、武豊町は自分の年代で利用をしているという話を聞かない。予算を投入して、その成果が得られているか疑問に思う。
- ・身近な手段と認識されていない。いかに利用、人件費もあると思うので、ムダなく活用されているか、企業感覚として考えるべきだと思う。町の負担を垂れ流すというムダは議論すべき。
- ・1世帯につき負担額があるなら、その人たちのメリットになるものが必要。例）無料回数券を年に5枚ほど1世帯に配る。

【PR について】

- ・自力での移動手段が少ない高齢者には非常に良いが、知らない人が多い。敬老会やサロン参加者を体験乗車させ簡単に自由に利用出来る事をもっと知ってもらう。免許自主返納の推進と交通サービス向上
- ・利用していない高齢者に向けて積極的にアピールして下さい。知らない人が多すぎると思います。
- ・無料乗車キャンペーン等を実施し、1か月程度町民に利便性を実感してもらう機会をもうけたらと思います。

【デジタル化について】

- ・バーコード決済などの導入（6件）
- ・バス停のQRコードでバスの臨時詳細、運行状況を見られるようにして今日は違うバスが来る、運転手が体調不良で足りないから運休、台風で安全の観点から運休などと分かればとても良いと思う。

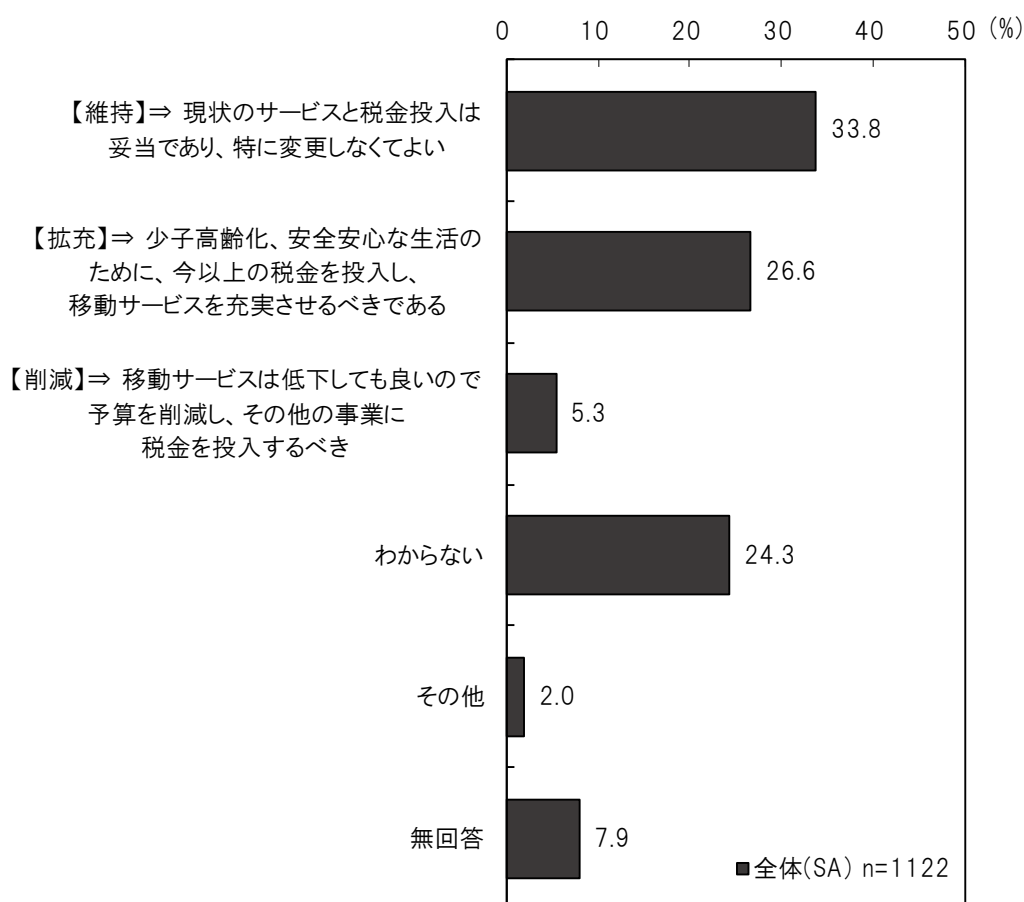
【ほかの交通サービスの拡充について】

- ・ライドシェアで解決する。(6件)
- ・どうせやるなら自動運転など、先進的かつ合理的な制度を導入すべき。(3件)

(11)「サービス」と「税金投入」のバランスについて

問 1 1 将来のあり方について検討していく必要がある中で、「サービス」と「税金投入」のバランスについてどのように考えるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。（1つに○印）

- ・「維持」が 33.8%で最も多く、次いで、「拡充」は 26.6%、「削減」は 5.3%であった。「わからない」の割合も 24.3%となっている。
- ・その他の回答では、将来的な少子高齢化や人口減少を考えるとバスにこだわらない形も検討するべきという意見もあげられた。



<その他の回答>

- ・現状は妥当ではあると思うが、少子高齢化や人口減少を考えるとバスという形も変える必要があるかもしれない。
- ・どの位ニーズがあるか調査して必要なら、上がるのは妥当かと思う。
- ・高齢化、物価高騰などがあるので5年位で見直しが必要なのでは…。
- ・お金を投入する＝サービス向上ではないと思う。
- ・税金で充実させるとしても、運賃は上げるべきだと思う。
- ・現状の税金で日本型ライドシェアを導入する。

(12)公共交通利用への転換見通しについて

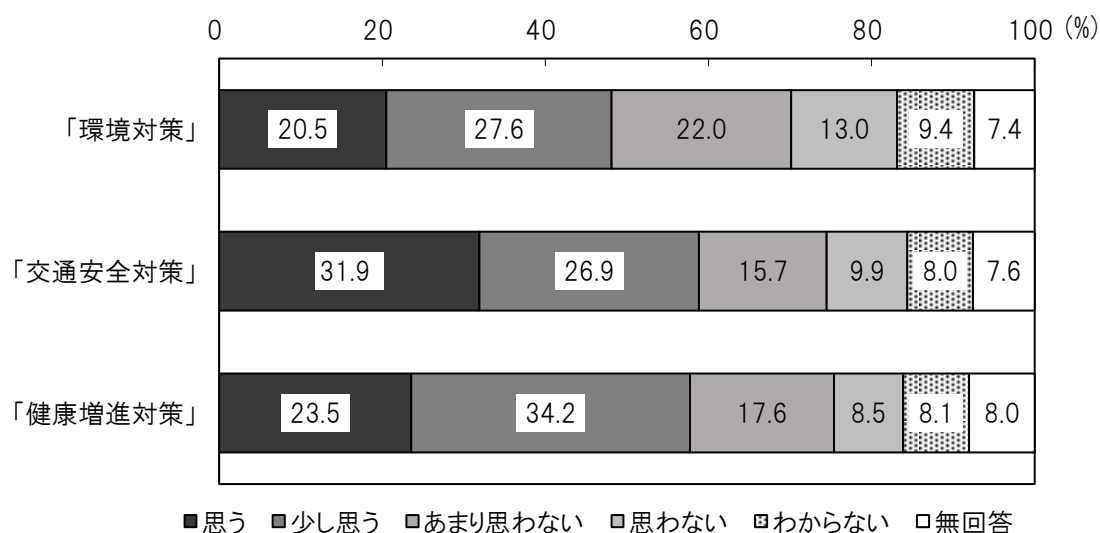
問12 公共交通維持のためには、多くの方の利用が必要です。以下の(1)から(3)の理由の場合、多くの方が公共交通を利用すると思いますか。

- (1) 自動車排気ガスを減らす「環境対策」のため。(1つに○印)
- (2) 交通事故を減らす「交通安全対策」のため。(1つに○印)
- (3) 歩く機会が増える「健康増進対策」のため。(1つに○印)

- ・「思う」(「思う」と「少し思う」の合計)の割合を見ると、「交通安全対策」が58.8%、「健康増進対策」が57.7%、「環境対策」が48.1%である。
- ・「思わない」(「あまり思わない」と「思わない」の合計)の割合を見ると「環境対策」は35.0%、「交通安全対策」が25.6%、「健康増進対策」が26.1%である。

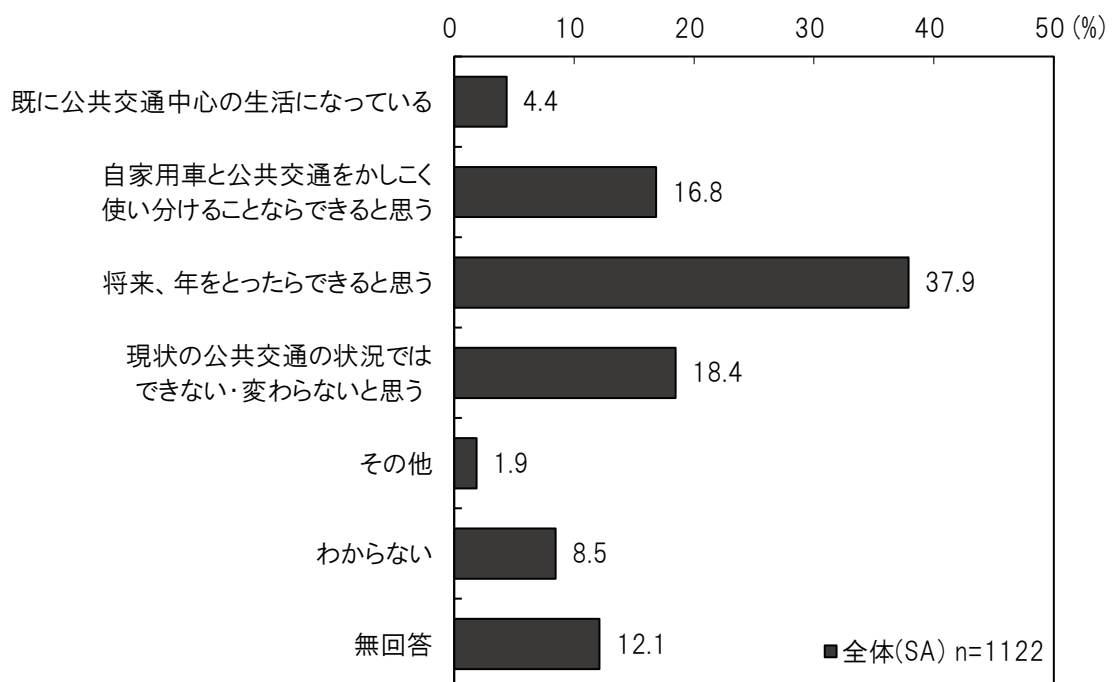
前回調査時点(令和元年度)では、

- ・「思う」(「思う」と「少し思う」の合計)の割合を見ると、「交通安全対策」が71.2%、「健康増進対策」が60.2%、「環境対策」が59.5%であった。
- ・「思わない」(「あまり思わない」と「思わない」の合計)の割合を見ると「環境対策」は31.3%、「交通安全対策」が21.1%、「健康増進対策」が29.3%であった。



問12(4) あなたは、公共交通中心の生活ができると思いますか。(1つに○)

- ・「将来、年をとったらできると思う」が37.9%。次いで、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」は18.4%である。
- ・前回調査時点（令和元年度）では、「将来、年をとったらできると思う」が62.3%、次いで、「現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う」は14.6%であった。
- ・自動車運転免許証および自家用車の所有が多い中で、現状では、公共交通中心の生活は難しいと考える人もいる。

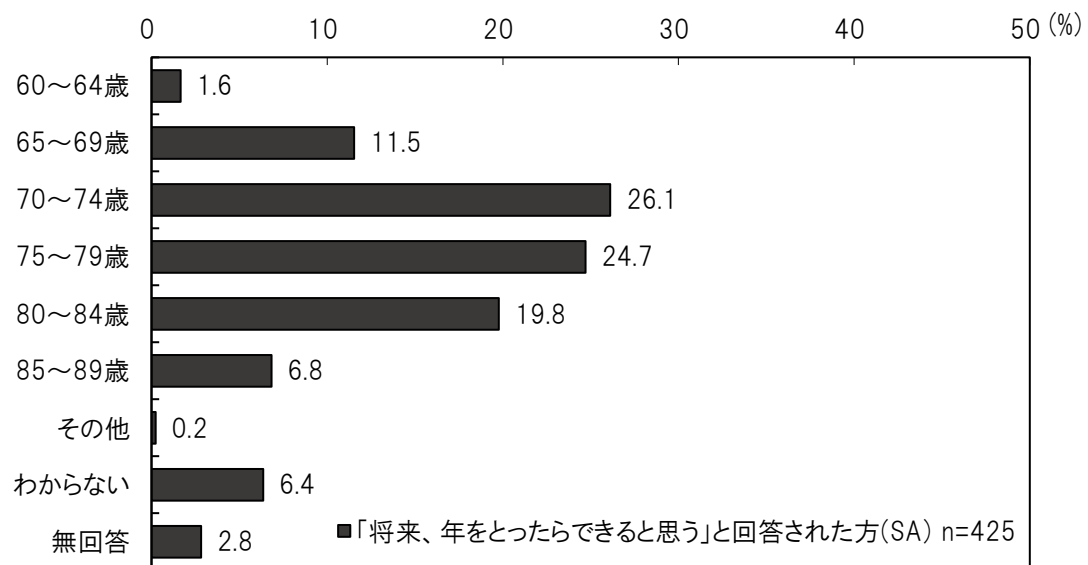


<その他の回答>

- ・町内であれば徒歩か自転車に対応できる。(3件)
- ・免許証を返納した時。(2件)
- ・利用したくない(2件)
- ・行き先(目的地)のルートが少し改善されればバスを利用したい。運転免許証返納後は、バスがありがたい存在となる。
- ・行動範囲が武豊町内であれば検討できますが、そうではないので今は難しいです。

問12(4) 何歳になったら公共交通利用へ転換できると思いますか。

- ・「将来、年をとったらできると思う」と回答した人に、転換する年齢を尋ねたところ「70～74歳」の割合が最も多く26.1%である。次いで、「75～79歳(24.7%)」、「80～84歳(19.8%)」である。
- ・前回調査時点(令和元年度)では、「80～84歳」の割合が最も多く27.0%であった。次いで、「75～79歳」が23.4%、「70～74歳」が19.8%であった。



(13)公共交通への意見

公共交通へのご意見などがあれば、ご記入ください。

【公共交通全般についての主な意見】

- ・高齢者の大きな事故を再三見て運転免許を自主返納したが、都会の様な交通手段がない為、大変苦勞しております。老人の運転ミスによる事故を減らすため、一刻も早く公共交通を充実させ、尊い命を1人でも多く助ける努力をお願いします。
- ・全国で資金難や少子高齢化による需要の低下により、公共交通機関は衰退しています。その中で苦しいとは思いますが身近なバスの拡充、自動運転化に向けた取り組みなどによって利用促進につながり、他の街の参考となり、武豊町の公共交通機関は、より素晴らしいものになれると思います。北海道のようなあまりにも過疎な地域での公共交通を盛り上げるのは難しいですが、武豊町の力があれば公共交通は、まだ無限の可能性があるとあります。

【コミュニティバスについての主な意見】

- ・今はまだ自家用車で移動できますが、運転できなくなると公共交通、特にコミュニティバスを利用したいし、頼りにしています。(9件)
- ・コミュニティバスが利用でき、大変有難く思っています。今後もほぼ現状維持で良いですから事業継続を願っています。(3件)
- ・コミュニティバスは高齢者向けのように感じています。子どもも安心して利用できるようになるとより良いかなと思います。(2件)

【コミュニティバスのルートについての主な意見】

- ・もう少し料金が高くても時間の本数を多くしたり、半田病院や駅に行けるルートも考えてほしい。今のままでは利用できない。1ルートが長すぎます。短いルートをいくつかつくれば利便性が増すと思います。
- ・自家用車移動がほとんどであるが、電車利用の際は駅までの移動に利用しています。青山駅に停留してくださるようになり、便利に感じています。

【コミュニティバスの停留所についての主な意見】

- ・とにかく停留所を増やして欲しい。
- ・バスの停留所が家から遠すぎる、少なすぎるので、バス停までの移動手段に困りすぎている。バスを利用する気持ちがもてない！

【コミュニティバスのダイヤ、運行頻度についての主な意見】

- ・家の近くから名鉄の駅まで利用できるバスの本数と時間が合えばコミュニティバスを利用するかもしれません。
- ・朝早い時間から外出したり夜遅い時間に帰宅することが多いので、そういった人達に向けたサービスが充実していたら、自分も利用頻度が増えると思う。

【コミュニティバスの運賃についての主な意見】

- ・走り始めた時から使っていて便利になっていると感じる。これからも 100 円は厳しいと思うから 150 円くらいまでなら値上げしても大丈夫だと思う。200 円はちょっと厳しいと思う。参考程度だが大阪市市バスは全区間一律 210 円なので。便利になったら武豊に住み続けられるが、不便だと人がいなくなってしまうので上手いこと頑張って欲しい。
- ・中学生以下は無料にしてもらえると、ありがたい。習い事に使えると便利。産業まつりなどのときも、割引や増便があると使いやすいと思う。

【負担額についての主な意見】

- ・公共交通を充実させる事に使う税金は、けちってはいけない。
- ・ゆめころんの経費を減らせるところはないかと考えるのもよいかと思います。

【PR、広報についての主な意見】

- ・今の時代、広報等を見る人少ないと思うので、別のアピール方法を考えたほうが良いと思います。
- ・バスに試乗する機会をたまに作ってほしい。18 歳になった年とか還暦になる年や節目に。試乗は昔、あったような気がします。
- ・今回のアンケートで初めて接続タクシーのことを知ったので、認知度を増やすと利用者も増えると思いました。

【鉄道、タクシーなどについての主な意見】

- ・町内で知多バスの運行がなくなり、タクシーの運転手、台数も減っているので、公共交通はコミュニティバスと名鉄しかなく、自家用車中心になってしまうのは仕方がないのかなと思います。
- ・鉄道の運行本数が減り、料金が上がって使いにくい。

【ほかの交通手段についての主な意見】

- ・ライドシェアを解禁してみてもいい？
- ・自動運転・遠隔操作の試験をしてほしいです。



公共交通に関するアンケート調査



調査のお願い

日頃から町政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、町内在住の15歳以上のみなさまから無作為に抽出した3,000人を対象に、外出状況、コミュニティバスや接続タクシーの事業実施効果や評価などをお聞きし、今後の施策・事業を検討する上での基礎資料とするために行うものです。回答は無記名で行うため、個人が特定されることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

【補足】

「コミュニティバス」…赤ルート・青ルートを車両2台で8時15分から17時45分まで、年中無休で運行しています。（運賃100円・無料対象者制度あり）

「接続タクシー」…自宅と最寄りのコミュニティバス停留所を移動できるサービスとして、コミュニティバス停留所まで遠いなどの問題解消を目的に実施しています。
（料金はタクシーメーター料金から町負担額400円を引いた残りの金額・無料対象者制度あり）

「公共交通」…上記を含め、鉄道・バス・タクシー・飛行機・船舶など、誰もが所定の金額を支払うことで、乗ることのできる交通のことを言います。

ご回答にあたってのお願い

- ご回答は、封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。
ご本人様による回答が難しい場合は、ご家族の方が代筆していただいても構いません。
- ご回答は、Web回答もしくは紙による回答のいずれか一つの方法にてお願いいたします。
いずれの回答方法においても、**11月18日（月）**までにご回答をお願いいたします。
- Webからご回答いただく場合は、右の2次元コード（または下記URL）からアクセスし、ご回答をお願いいたします。※通信料は自己負担になります
https://questant.jp/q/taketoyo-gaisyutu_koutu
- 紙でご回答いただく場合は、設問ごとの指示により番号に○印をつけるか、回答欄に直接文字や数字をご記入ください。
- 本用紙をご提出の際は同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストへご投函ください。



※令和6年10月15日現在の住民基本台帳に基づき送付しております

はじめに

本アンケートでは、コミュニティバスや接続タクシーに対する負担額についての設問があります。(11、12 ページ)
武豊町では今年度、コミュニティバスや接続タクシー等の事業全体の予算として約 5,953 万円を計上しています。この金額は1世帯当たり、年間約 3,129 円(月当たり 261 円)の負担となります。
参考として、広報たけとよ(2024 年 4 月号)の「令和6年度の主な事業」について掲載いたしました。
各施策の事業費(税金投入)も参考にご回答いただきますよう、お願いいたします。

(ご参考) 広報たけとよ(2024.4)掲載

令和6年度の主な事業

第6次武豊町総合計画の目標ごとに紹介します



①定住先として 選択されるまち



- 公共交通拠点検討調査業務委託料 2,594万9千円
- 無電柱化推進事業 1億274万4千円
- 基幹配水管布設工事 8,624万円
- スtockマネジメント計画策定業務委託 6,010万円
- パスロケーションシステムおよび交通系ICカード対応
車載器導入事業 619万円



②安心して子どもを産み 育てることができるまち



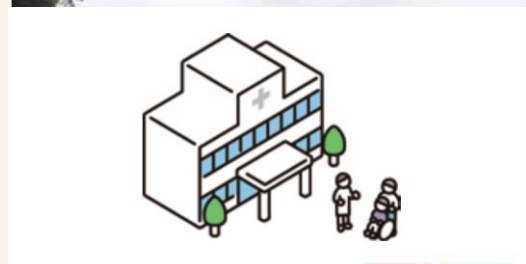
- 東大高保育園・おおぞら園整備事業 13億2,227万8千円
- 富貴児童クラブ施設整備事業 2億8,364万6千円
- 子ども医療費助成事業 2億6,037万1千円
- 放課後児童クラブ施設整備補助金 4,212万3千円
- 不妊治療費助成金 870万円



③楽しく学び、いきいきとした 生活ができるまち



- 学校給食センター施設整備工事実施設計委託料 4,730万円
- コミュニティ・スクールの導入事業 105万8千円
- 町民会館文化振興事業 2,383万4千円
- 地区公民館補助金 1,084万6千円
- 有形民俗文化財保存施設整備補助金 790万6千円



④人と人がつながり、 互いに支え合い、健康で 安心して暮らせるまち



- 福祉医療費助成事業(子ども医療費助成事業を除く) 2億2,218万7千円
- 難聴高齢者補聴器購入助成事業 30万円
- 帯状疱疹ワクチン任意接種助成事業 520万円
- 健康たけとよ21スマイルプラン策定業務委託料 363万7千円



⑤災害に強く、安全・安心に暮らせるまち



- 総合体育館第1競技場天井等非構造部材改修工事 1億9,288万5千円
- 同報無線屋外拡声子局デジタル化更新工事 3,154万8千円
- マンホールトイレ実施設計委託料 (武豊小・武豊中・富貴中) 376万2千円
- 民間木造住宅等耐震改修費補助金 908万6千円



⑥産業が持続・発展する活力のあるまち



- 創業支援補助金 700万円
- 中小企業者等応援補助金 200万円
- 町制70周年記念事業 1億5,553万5千円



⑦環境にやさしいまち



- 図書館施設整備工事(屋上防水工事・太陽光パネル設置)設計委託 473万円
- 資源回収エコステーション整備事業 2億2,036万3千円
- 公用車(電気自動車)の購入 332万5千円
- 最終処分方針策定支援業務委託料 705万1千円
- 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金 1,408万4千円



⑧多様な主体が連携・協働するまち



- 協働推進事業委託料 99万円
- 男女共同参画プラン改定業務委託料 363万円
- 企業版ふるさと寄附業務委託料 44万円

<令和6年度事業費の比較>

主な事業	事業費
コミュニティバスや接続タクシー等の運行事業	5,953万円
富貴児童クラブ施設整備事業	2億8,365万円
子ども医療費助成事業	2億6,037万円
福祉医療費助成事業(子ども医療費分を除く)	2億2,219万円
町民会館文化振興事業	2,383万円

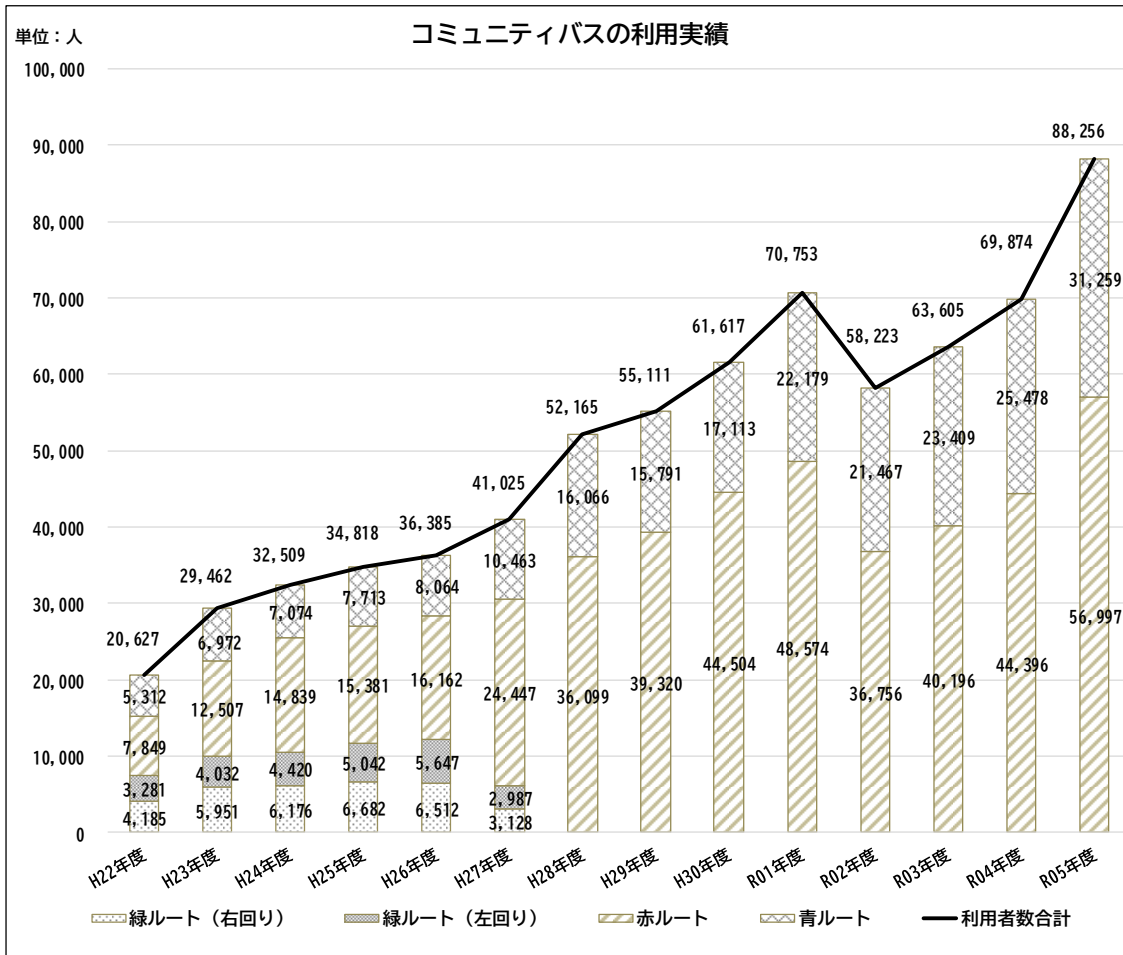
(ご参考) コミュニティバスの利用実績

コミュニティバスは、平成 22 年 7 月から運行を開始しました。

当初は、緑ルート（右回り・左回り）・赤ルート・青ルートの計 3 ルートで運行していましたが、緑ルートの利用が伸び悩み、利便性を高めるために、平成 27 年 10 月より現行の赤・青ルートに変更しています。

コロナ禍で一時的に利用が減少した時期はありましたが、順調に利用者数は増加しています。

	利用者数 （単位：人）					運行日数
	緑（右）	緑（左）	赤	青	合計	
H22年度	4,185	3,281	7,849	5,312	20,627	242
H23年度	5,951	4,032	12,507	6,972	29,462	360
H24年度	6,176	4,420	14,839	7,074	32,509	359
H25年度	6,682	5,042	15,381	7,713	34,818	359
H26年度	6,512	5,647	16,162	8,064	36,385	359
H27年度	3,128	2,987	24,447	10,463	41,025	360
H28年度	0	0	36,099	16,066	52,165	359
H29年度	0	0	39,320	15,791	55,111	359
H30年度	0	0	44,504	17,113	61,617	359
R01年度	0	0	48,574	22,179	70,753	359
R02年度	0	0	36,756	21,467	58,223	359
R03年度	0	0	40,196	23,409	63,605	359
R04年度	0	0	44,396	25,478	69,874	359
R05年度	0	0	56,997	31,259	88,256	365



公共交通に関するアンケート調査 回答用紙

あなたご自身のことについてお伺いします。

問1. それぞれの質問について該当するものをお選びください。

(1) あなたの性別は。(1つに○印)

※ご回答は任意です。

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 回答しない |
|-------|-------|----------|

(2) あなたの年齢は。(1つに○印)

※ご記入時点での年齢をお答えください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60～64歳 | 7. 65～69歳 | 8. 70～74歳 |
| 9. 75～79歳 | 10. 80歳以上 | | |

(3) あなたのお住まいの地区はどれですか。(1つに○印)

- | | | | | |
|----------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 北山区 | 2. 中山区 | 3. 下門区 | 4. 馬場区 | 5. 市場区 |
| 6. 上ヶ区 | 7. 小迎区 | 8. 玉東区 | 9. 玉西1区 | 10. 玉西2区 |
| 11. 原田区 | 12. 緑区 | 13. 大足区 | 14. 富貴区 | 15. 富貴市場区 |
| 16. 東大高区 | 17. 市原区 | 18. 新田区 | | |

区がわからない方は、お住まいの字名をご記入ください ()

(4) あなたの職業は。(1つに○印)

- | | | | |
|----------|----------|--------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主婦・主夫 | 6. 学生・生徒 | 7. 無職 | 8. その他 |

(5) 自動車免許はお持ちですか。(1つに○印)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

(6) 自家用車はお持ちですか。(1つに○印)

- | | | |
|----------|---------------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 家族等で共有している | 3. 持っていない |
|----------|---------------|-----------|

(7) 外出についてはどうですか。(1つに○印)

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 外出には困難を感じない | 2. 杖やシニアカーなどを使用している |
| 3. 介助を必要とする | 4. 外出は困難な状況である→ 問3へ |

(8) 上記(7)で、1～3を選択した方にお伺いします。

どの程度の頻度で外出しますか。(1つに○印)

- | | | | |
|-----------|--------------|---------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 平日はほとんど毎日 | 3. 土日のみ | 4. 週に3～4日 |
| 5. 週に1～2日 | 6. 1ヶ月のうち数日 | 7. 年に数日 | |

外出の状況について

問2. 「通勤・通学」「買い物や娯楽」「病院や福祉施設を利用する場合」の頻度、交通手段、目的地等や外出の時間帯を教えてください。

	「頻度」は？ (1つに○印)	「交通手段」は？ (あてはまるものすべてに○印)
(1) 「通勤・通学」 の場合	1. ほとんど毎日 2. 平日はほとんど毎日 3. 週に3～4日 4. 週に1～2日 5. 1ヶ月のうち数日 6. 年に数日 7. ほとんど行かない または該当しない (次の問(2)へ)	1. 徒歩(車椅子やシニアカー含む) 2. 自転車 3. 自動二輪車(原付含む) 4. タクシー 5. 自家用車 6. コミュニティバス 7. 接続タクシー 8. 鉄道(名鉄) 9. 鉄道(JR) 10. その他()
(2) 「買い物や 娯楽」の 場合	1. ほとんど毎日 2. 平日はほとんど毎日 3. 土日のみ 4. 週に3～4日 5. 週に1～2日 6. 1ヶ月のうち数日 7. 年に数日 8. ほとんど行かない または該当しない (次の問(3)へ)	1. 徒歩(車椅子やシニアカー含む) 2. 自転車 3. 自動二輪車(原付含む) 4. タクシー 5. 自家用車 6. コミュニティバス 7. 接続タクシー 8. 鉄道(名鉄) 9. 鉄道(JR) 10. その他()
(3) 「病院や 福祉施設」を 利用する場合	1. ほとんど毎日 2. 平日はほとんど毎日 3. 土日のみ 4. 週に3～4日 5. 週に1～2日 6. 1ヶ月のうち数日 7. 年に数日 8. ほとんど行かない または該当しない (8ページの間3へ)	1. 徒歩(車椅子やシニアカー含む) 2. 自転車 3. 自動二輪車(原付含む) 4. タクシー 5. 自家用車 6. コミュニティバス 7. 接続タクシー 8. 鉄道(名鉄) 9. 鉄道(JR) 10. その他()

「目的地等」はどこですか？ (あてはまるものすべてに○印)		➡	外出の「時間帯」は？ (あてはまるものすべてに○印)	
目的地	場所		出発の時間帯	帰宅の時間帯
1. 勤務場所 2. 学校(高校・大学等) 3. その他 ()	1. 武豊町内 2. 半田市 3. その他知多地域 4. 名古屋市 5. その他 ()	➡	1. 6時台 2. 7時台 3. 8時台 4. 9時台 5. 10時台 6. 11時台 7. 12時台 8. 13時台 9. 14時台 10. その他 () 時	1. 11時台 2. 12時台 3. 13時台 4. 14時台 5. 15時台 6. 16時台 7. 17時台 8. 18時台 9. 19時台 10. 20時台 11. その他 () 時
1. MEGAドンキ武豊店 2. コノミヤ武豊店 3. イハフード 武豊店 4. アオリスパ-武豊店 5. イオン半田店 6. その他 ()	1. 武豊町内 2. 半田市 3. その他知多地域 4. 名古屋市 5. その他 ()	➡	1. 6時台 2. 7時台 3. 8時台 4. 9時台 5. 10時台 6. 11時台 7. 12時台 8. 13時台 9. 14時台 10. その他 () 時	1. 11時台 2. 12時台 3. 13時台 4. 14時台 5. 15時台 6. 16時台 7. 17時台 8. 18時台 9. 19時台 10. 20時台 11. その他 () 時
1. 石川病院 2. 杉石病院 3. 榑原整形外科 4. 半田市立半田病院 5. その他 ()	1. 武豊町内 2. 半田市 3. その他知多地域 4. 名古屋市 5. その他 ()	➡	1. 6時台 2. 7時台 3. 8時台 4. 9時台 5. 10時台 6. 11時台 7. 12時台 8. 13時台 9. 14時台 10. その他 () 時	1. 11時台 2. 12時台 3. 13時台 4. 14時台 5. 15時台 6. 16時台 7. 17時台 8. 18時台 9. 19時台 10. 20時台 11. その他 () 時

公共交通による移動について

問3.

(1) 日常の公共交通（鉄道・コミュニティバス・タクシー等）での移動に不便を感じていますか。（1つに○印）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 感じている | → 問3 (2) と (3) へ |
| 2. やや感じている | → 問3 (2) と (3) へ |
| 3. あまり感じていない | → 問4 へ |
| 4. 感じていない | → 問4 へ |

(2) 不便を感じる理由は何ですか。(3つまで○印)

1. 自宅から鉄道やバス停留所までが遠い
2. 使いたい時間に運行していない、時間が合わない
3. 行き先が合わない
4. 通常のタクシーを利用できるが、料金が高いため使いづらい
5. 家族等に送迎してもらおうと思っても、都合が合わない
6. 介助を必要とするが、介助者を自由に確保できない
7. 移動等の円滑化のための交通バリアフリーが整備されていない
8. その他（ ）

(3) 不便を感じたことにより、外出を控えたことがありますか。(1つに○印)

- | | | |
|---------|----------|-------|
| 1. よくある | 2. たまにある | 3. ない |
|---------|----------|-------|

武豊町のコミュニティバスについて

問4.

(1) あなたはコミュニティバスをどの程度利用されますか。(1つに○印)

1. 週に3日以上 2. 週に1～2日 3. 1ヶ月に数日 4. 年に数日
5. ほとんどまたは利用しない → 問5へ

(2) コミュニティバスの主な利用目的をお答えください。(2つまで○印)

- | | | | | |
|-------|------------|------------|-----------|----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買い物 | 4. 塾・習い事 | 5. 趣味・娯楽 |
| 6. 通院 | 7. 福祉施設の利用 | 8. 公共施設の利用 | 9. その他（ ） | |

武豊町の接続タクシー（コミュニティバスに接続するタクシー）について

問5.

(1) あなたは「接続タクシー」を知っていますか。(1つに○印)

1. 知っている 2. 知らない → 問6へ

(2) あなたは「接続タクシー」を利用したことはありますか。(1つに○印)

1. 利用したことがある(回数) → 問7へ 2. 利用したことはない → 問6へ

コミュニティバスや接続タクシーを「利用しない（知らない）方だけ」にお伺いします

問6.

(1) あなたのお住まいの近くに停留所はありますか。(1つに○印)

1. ある → (2) をご回答ください
2. ない（知らない・わからない 含む） → (3) をご回答ください

(2) あなたが「コミュニティバスや接続タクシーを利用しない理由」をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 自分で車を運転できる | 2. 家族や友人などが車で送迎してくれる |
| 3. 停留所まで遠い | 4. 乗り降りや外出が負担 |
| 5. 行きたい場所にバスが通っていない | 6. 行きたい時間にバスが走っていない |
| 7. 運行本数が少ない | 8. 運賃が高い |
| 9. 目的地まで時間がかかる | 10. 目的地まで遠回りする |
| 11. 時刻表通りに来ない | 12. 目的地への到着が遅れる |
| 13. 始発バスの時間が遅い | 14. 最終バスの時間が早い |
| 15. 帰りに利用できるバスがない | 16. 乗り継ぎが不便 |
| 17. 時刻表やルートがよくわからない | 18. そもそも乗り方がわからない |
| 19. その他 (|) |

(3) 自宅の近くにバス停が設置されたら、あなたはコミュニティバスを利用しますか。(1つに○印)

1. 運行時間や目的地などの条件が合えば、必ず利用する
2. 運行時間や目的地などの条件が合えば、おそらく利用する
3. 利用しない
 - ➡ 利用しない理由をお聞かせください
 - ア) 自家用車で移動できる
 - イ) 家族や友人などが車で送迎してくれる
 - ウ) 徒歩や自転車で移動できる
 - エ) その他 (
 -)

コミュニティバスや接続タクシーの事業実施効果について

問7. コミュニティバスは平成22年7月、接続タクシーは平成23年9月から運行しています。これまでも、コミュニティバスのルート・ダイヤ、接続タクシー制度などを随時見直し、利便性向上および利用者数増加に努めています。事業実施による、あなたの生活の変化についてお聞かせください。

(1) 「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活環境について何らかの変化があったと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

1. 交通手段を利用できる環境が確保され、「便利」になったと思う
2. 安全に移動できる環境が確保され、「安心感」を持つことができたと思う
3. 交通手段を選択ができる環境があり、生活の質が「豊かになった」と思う
4. 何も変わらない
5. わからない

(2) 「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活の中で、外出する機会が増えましたか。(1つに○印)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 外出する機会が増えた | 2. 何も変わらない |
| 3. わからない | 4. その他 () |

(3) 「コミュニティバスや接続タクシー」の運行により、あなたの生活の中で、移動手段・行動について変化がありましたか。(1つに○印)

- | | | | |
|-------------------------------|----------|------------|--|
| 1. コミュニティバスや接続タクシーを利用するようになった | | | |
| 2. 何も変わらない | 3. わからない | 4. その他 () | |



上記(3)で「1」を回答した方は、(4)をお答えください。

(4) コミュニティバスや接続タクシーを利用することにより感じられた変化は何ですか。(3つまで○印)

1. 医療面＝健康的な生活になり「医療費」負担が削減できた
2. 買物面＝行動の範囲が広がり「買い物」するお店の選択肢が増えた
3. 安全面＝バス等の利用により「安全に」移動できる機会が増えた
4. 通学面＝通学で、雨の日など「通学」の利便性が向上した
5. 通勤面＝通勤で、雨の日など「通勤」の利便性が向上した
6. 居住面＝バス等が利用できて「移動手段の選択肢」が増えて便利になった
7. 福祉面＝高齢での運転等の心配が減り「安心」して暮らせるようになった
8. 環境面＝排気ガスの削減など「環境面」での貢献ができています
9. 観光面＝来訪者にとって、車がなくても「移動」できる環境がよくなった
10. 財政面＝公共交通の利用が確保され、「不動産の価値」が維持できている
11. わからない
12. その他 (感じられる変化をご記入ください)

コミュニティバスや接続タクシーの事業評価等について

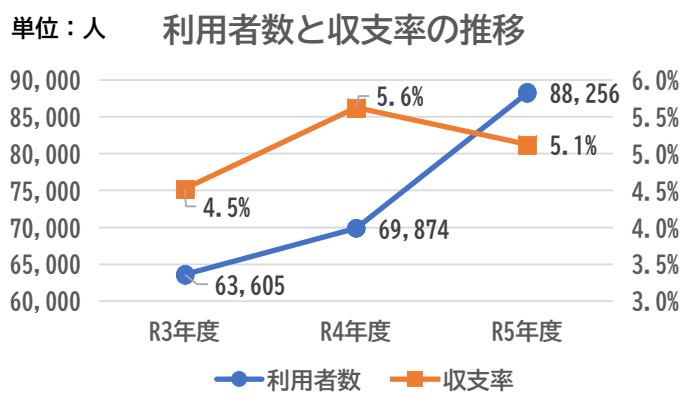
ご 参 考

武豊町では今年度、コミュニティバスや接続タクシー等の事業全体の予算として約5,953万円を計上しています。

この金額は1世帯当たりでは年間約3,129円（月当たり261円）の負担となります。

※参考として、2ページと3ページに「令和6年度の主な事業」を掲載しています。

各施策の事業費（税金投入）も参考に、質問をご回答ください



・コミュニティバスの利用者数については、コロナ禍から回復し、増加しています。

・利用者数は増加しているものの、人件費や燃料費等が高騰しており、収支率（運賃収入÷運行経費）は約5%の低い水準で推移しています。収支率が低い水準であるのは、高齢者無料乗車券交付事業による運賃収入の減少も挙げられます。

問8.

コミュニティバスや接続タクシー等の事業全体の予算に対する負担額について

- (1) 自家用車に依存せず、安心して移動できる環境を維持・拡充していく必要がある中で、現状の負担額をどう思いますか？（1つに○印）

※負担額：1世帯当たり年間約3,129円（月当たり261円）

1. 多すぎる 2. やや多い 3. 妥当 4. やや少ない 5. 少なすぎる

コミュニティバスの事業評価について

- (2) コミュニティバスについて、以下の①から⑥までの項目を1～5の5段階でルートごとに評価をお願いします。（それぞれ1つに○印）

さらに、特に不満と思う点などあればその内容をお書きください。

選択肢	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない					
評価する項目	赤ルートについて					青ルートについて				
① 運行頻度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② ルート	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 停留所の位置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 停留所の環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ ダイヤの設定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 運賃設定 （各ルート1乗車100円）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
特に不満と思う点や 改善すべき点があれば、 その内容をお書きください。										

- (3) コミュニティバスの運行事業に限って（接続タクシー等を除く）は、
 予算として3,929万円を計上しています。
 この金額は、1世帯当たりでは年間約2,055円（月当たり171円）の負担と
 なります。現状の負担額をどう思いますか。（1つに○印）

1. 多すぎる 2. やや多い 3. 妥当 4. やや少ない 5. 少なすぎる

接続タクシーの事業評価について

- (4) 接続タクシーについて、以下の①から④までの項目を1～5の5段階で評価をお願いします。(1つに○印)
さらに、特に不満と思う点などあればその内容をお書きください。

選択肢	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
評価する項目	選択肢				
① 予約方法が事前予約制であることについて	1	2	3	4	5
② 移動範囲が自宅から最寄りのバス停留所であることについて	1	2	3	4	5
③ 運賃設定について (タクシーメーター料金から町負担額400円を引いた残りの金額)	1	2	3	4	5
④ 制度自体について	1	2	3	4	5
特に不満と思う点や改善すべき点があれば、その内容をお書きください。					

- (5) 接続タクシーの事業に限っては、予算として 96 万円を計上しています。この金額は、1 世帯当たりでは年間約 50 円（月当たり 4 円）の負担となります。現状の負担額をどう思いますか。（1 つに○印）

1. 多すぎる 2. やや多い 3. 妥当 4. やや少ない 5. 少なすぎる

コミュニティバスや接続タクシーの将来のあり方について

問9.

- (1) コミュニティバスは、赤ルート・青ルートを車両2台・運転手2人体制で8時15分から17時45分まで、年中無休で運行しています。将来のあり方として、今後はどのように考えるべきでしょうか。あなたの考えに近いものを1つお選びください。(1つに○印)

1. 現状を維持する【車両2台・運転手2人の体制】
2. 朝と夜の運行時間を延長する【車両2台・運転手4人体制】（運転手2人を増やす）
3. ルートを増やし充実させる【車両3台・運転手3人体制】（車両1台・運転手1人を増やす）
4. 赤・青ルートを両周り運行にする【車両4台・運転手4人体制】（車両2台・運転手2人を増やす）
5. バスではなく、タクシーの活用など、他の方法を強化する
6. わからない
7. その他（ ）

- (2) 接続タクシーは、コミュニティバス停留所まで遠くて生活の足がないなどの問題解消を目的に、自宅と最寄りの停留所を移動できる交通手段、コミュニティバスを補完する移動サービスとして実施していますが、限られた利用にとどまっています。今後については、どのように考えるべきでしょうか。あなたの考えに近いものを1つお選びください。(1つに○印)

1. 現状維持
(料金はタクシーメーター料金から町負担額 400 円を引いた残りの金額で、70 歳以上の高齢者等は無料)
2. 利便性向上のために、自宅から最寄りの鉄道、特定の医療機関・商業施設などの主要施設へ移動ができるサービスに変更する(利用者の負担が発生する)
3. 一般タクシー利用に対する助成券(割引チケット)を支給する制度に変更
4. わからない
5. その他()

デジタル化・サービスの充実について

問10. デジタル化として、経路検索サービスへの情報掲載のほか、令和6年度には、バスロケーションシステムや交通系ICカードを利用できる環境を整備する予定です。今後も、武豊町ではサービスの充実に取り組んで参ります。あなたの考えについてお聞かせください。

- (1) 今後のサービスについて、導入や強化等して欲しいことはありますか。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 回数券のデジタル化、デジタルチケットの導入
2. 次世代の交通サービスである「MaaS」の強化
(MaaSとは: Mobility as a Service=複数の公共交通やそれ以外の交通サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。観光や医療等の交通以外のサービス等との連携により、利便性向上や地域の課題解決にも資する施策)
3. デジタル対応後の問い合わせ窓口の充実や出張説明会の実施等
4. 自動運転車両の導入に向けた検討・実証実験等の強化
5. その他()
6. わからない
7. 特に無い

- (2) 交通サービス充実のために、今後はどのような対応をするべきだと思いますか。アイデアがありましたら、ご自由にお書きください。

「サービス」と「税金投入」のバランスについて

問1 1. 将来のあり方について検討していく必要がある中で、「サービス」と「税金投入」のバランスについてどのように考えるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものをお選びください。(1つに○)

1. 【維持】⇒ 現状のサービスと税金投入は妥当であり、特に変更しなくてよい
2. 【拡充】⇒ 少子高齢化、安全安心な生活のために、今以上の税金を投入し、移動サービスを充実させるべきである。
3. 【削減】⇒ 移動サービスは低下しても良いので予算を削減し、その他の事業に税金を投入するべき。
4. わからない
5. その他 ()

公共交通利用への転換見通しについて

問1 2. 公共交通維持のためには、多くの方の利用が必要です。以下の(1)から(3)の理由の場合、多くの方が公共交通を利用すると思いますか。

(1) 自動車排気ガスを減らす「環境対策」のため。(1つに○印)

1. 思う 2. 少し思う 3. あまり思わない 4. 思わない 5. わからない

(2) 交通事故を減らす「交通安全対策」のため。(1つに○印)

1. 思う 2. 少し思う 3. あまり思わない 4. 思わない 5. わからない

(3) 歩く機会が増える「健康増進対策」のため。(1つに○印)

1. 思う 2. 少し思う 3. あまり思わない 4. 思わない 5. わからない

(4) あなたは、公共交通中心の生活ができると思いますか。(1つに○印)

1. 既に公共交通中心の生活になっている
2. 自家用車と公共交通をかしこく使い分けることならできると思う
3. 将来、年をとったらできると思う
※何歳になったら公共交通利用へ転換できると思いますか
ア) 60～64 歳 イ) 65～69 歳 ウ) 70～74 歳 エ) 75～79 歳
オ) 80～84 歳 カ) 85～89 歳 キ) その他 (歳) ク) わからない
4. 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う
5. その他 ()
6. わからない

以上でアンケートは終了です
公共交通へのご意見などがあれば、ご記入ください

ご協力ありがとうございました